



DanceSport 競技会

スケーティングシステム 解説書

(第5版)



表紙共 68 頁



■ 概要

ダンススポーツの競技会に於ける審査は、一人ずつ演技する体操やフィギアスケート等、他のスポーツと異なり踊っている複数の選手の技量を比較して、優劣が付けられる方法で行われます。すなわち審判員は、ボールルームのフロア上で、同時に多数の選手が競技を行う中、有る意味相対的な比較評価を実施して審査し、採点をするに成ります。

この審査の場合、現代のフィギアスケート競技のように、技術点や芸術点と言った具体的な審査項目が別れている訳ではありません。審判員は、踊っている競技選手を順次比較をしながら、総合的な視点から主観によって判断し、順位の識別を付けることとなります。(当然、判断項目は有ります。)

この方法は、有る意味合理的では有りますが、1人の審判員による審査結果には、かなりの偏りが出来てしまう可能性が考えられます。そこでダンススポーツでは、複数の審判員(通常は、奇数の人員で構成)でこの審査を実施し、それぞれの審査結果を独特の順位決定方法を採用して最終的な順位を決定しています。

この方法が、『**スケーティングシステム**』と言われる順位決定方法です。

これは、英国のオフィシャル・ボード・オブ・ボールルーム・ダンシングに(Official Board of Ballroom Dancing)よって権威づけられ、万国共通のルールとして、現在世界各地で実施されるダンススポーツの競技会で使用されています。

■ 競技方法

ダンススポーツの競技会は、その競技に参加する全ての選手の踊りを、審判員が順次見比べながらふるいに掛け、最終的に決勝で競う選手(通常は6組)を選出して行きます。こうして最後に残った選手で決勝戦が実施され、最終的な順位が得られます。

決勝で競う選手を選出する迄の試競技は、予選と呼ばれます。この予選は、参加する選手の組数によって実施する回数・即ち次数(ラウンド)が変わりますが、通常は一次から始まり、二次・三次と進み、最終予選迄の数次の予選と準決勝で構成されます。この予選を勝ち残ることが出来た選手が、決勝に進むことが出来る訳です。

◆ チェック法

この予選の段階での審査は、『**チェック法**』と呼ばれる方法を用います。

このチェック法では審判員に、各々のダンス(例えばスタンダード競技に於けるワルツとかタンゴと言ったそれぞれの踊り)を踊った全ての選手の中から、あらかじめ拾いあげるように指定してある組数(ピックアップ数)分の、優れた選手を識別して貰います(チェック獲得)。

但し全ての選手を同時にフロアで踊らせる事が出来ませんので、通常は12組を基本としたグループ(ヒート)に分けて踊ってもらい、全選手を総合的に評価します。その競技で実施される全種類のダンスを踊った後、全ての審査員が付けた識別(チェック)数を選手毎に合計し、獲得したチェック数(ポイント数)の多い選手が次の予選ラウンドに進出することが出来ます。

この手順を順次実施される予選ラウンドで繰り返し実行し、最終的に決勝に進出する選手が選別されます。

◆ 順位法

これに対し、最終的に行われる決勝戦の審査では『**順位法**』と呼ばれる方法を用います。

この順位法では、各審査員がそれぞれ、決勝戦の各々のダンス毎に、参加した全選手に順位付け(1位→2位から6位)を行います。この順位、全ての審判員の意見が一致するならば問題はないのですが、それぞれの観点で審査している関係で、必ずしもそうはいきません。そこがまた、『公平な審査を実施している』と言うことには成るのですが…。

この意見の違いを巧く合理的に計算して、最終的な順位を決定するためには、これから学ぶ「スケーティングシステム」の手法を用います。

尚、この最終的な順位決定の「順位法」には、各々のダンスに於いて順位を決定する『**単科**』と、単科の結果から総合的に順位を決定する『**総合**』の考え方が在ります。

■ スケーティング規定

■ スケーティングシステム

◆ スケーティング習得は簡単！

スケーティングシステムは、複数の審判員によってそれぞれ順位付けられた結果から、合理的に総合順位を決定する手法です。複雑そうに思えますが、全部合わせても **11の規定** で成り立っています。

詳細には13項目の決まりが有るのですが、たった **13個の理屈を覚えるだけでマスター** することが出来るのです！

◆ 過半数 [majority]

スケーティングシステムを使った競技会では、審判員が予選から決勝までの各ラウンド毎に（参加数に因って変わります）、その参加選手の技量を順次見比べて、準決勝まではチェック法、決勝では順位法による審査を行います。

そして、この複数の審判員による結果に基づき、**過半数 [majority] という概念** をベースに、順位を決定するところに大きな特徴があります。

スケーティングシステムでは、この過半数の概念が、特に重要視されているので、奇数の審判員で構成される審判チームによって実施されることも、必須条件となります。

尚、審判員の意見が極端に違う場合には、一見ただけでは理解し難い結果と成る場合があるのも、スケーティングシステムの特徴です。

■ スケーティングシステム規定概要

スケーティングシステムの規定は、基本的に次の3つのパートに分けることが出来ます。

1. 採点方法 (規定1～規定4)
2. 単科の順位決定 (規定5～規定8)
→ ※ 単科とは、実施された競技に採用されているダンス種目の、それぞれを示しています。
3. 総合の順位決定 (規定9～規定11)
→ ※ 総合とは、実施された単科競技全ての結果を基にした、最終的な総合順位を示しています。

※ これらの規定パートの内、1. の採点方法については、読んだだけで理解出来る内容なので、覚えるには及びません。スケーティングシステムの修得には、順位を決定する為に必要な、**残りの7つの条項**を覚えるだけです。

◆ スケーティング規定一覧

	三つのパート	11の規定	+	奇数審判員 【 過半数 】
1. 採点方法	規定1	チェック法の採用		
	規定2	順位法の採用		
	規定3	順位法の記入方法		
	規定4	順位付けの時の注意		
2. 単科の順位決定 (種目別)	規定5	過半数		
	規定6	多数決		
	規定7(a)	上位加算		
	規定7(b)	下位比較		
	規定8	繰り上げ		
3. 総合の順位決定	規定9	合計点		
	規定10(a)	多数決		
	規定10(b)	上位加算		
	規定11	再スケーティング		

▼ 次ページ以下には、各々の規定についての内容を記載しています。

■ 規定パート1 採点方法 (規定1 ~ 規定4)

この規定パート1では、スケーティングシステム規定の内、採点方法についての説明をしてします。
このパートで規定している内容は、審査をする上での、審判員に対するの基本的な注意事項です。

1. 採点方法	規定1	チェック法の採用
	規定2	順位法の採用
	規定3	順位法の記入方法
	規定4	順位付けの時の注意

◆ 規定1 (チェック方法)

- 全ての予選および準決勝においては、競技長（もしくはチェアマン）が指示した組数（チェック数）分の上位者を、そのラウンドに出場している競技者の中から審査選別し、審査表にチェックを付けなければなりません。
- 基本概念として、選ばうとする選手をピックアップすること。逆の、消去法は認められません。
 - 原則、審査票上のチェック数が、指示されたチェック数に合わないときには、必ず訂正して貰うことが肝要です。
 - ※ この条項は、スケーティングシステムに於いては、唯一、予選（含む準決勝）について定義されている条項です

↓ 以降は、決勝に於いて使用する、順位法についての、審判員に対する注意事項となります。

◆ 規定2 (順位法の採用)

順位法を採用する決勝戦では、各種目（単科）毎に、その出場者の順位をつけるものとします。

- 複数種目（2種目以上）が有る総合の場合には、審判員は全種目が終わってから総合的に順位を付けるのではなく、種目毎に順位を付けます。
- ※ 当然ながらその種目終了時点で、審判員より審査表を回収します。

◆ 規定3 (順位法の記入方法)

順位法において各審判員は、各種目別に、第1位には1、第2位には2、第3位には3、…（以下決勝に参加した全員の数分の順位を同様に…）と記入します。

- ※ 凄くまれに、決勝にも拘わらず、チェック法と勘違いをして記述してしまうケースが有る。

◆ 規定4 (順位をつける時の注意)

いかなる種目の審判に於いて、審判員が順位をつけるときには、何位であろうとも、同順位をつけてはならない。

- 結果としての同順位は有り得るが、各々の審査では、いかなる理由であろうとも同順位を付けては成らない。
- ※ 従って、回収した審査表上に同順位が合った場合には必ず、審判員に訂正して貰う必要が有ります。

◎ 審査表のサンプル 【 ↓ 決勝（順位法） 】

【 ↓ 予選（チェック法） 】

■ 規定パート2 単科の順位決定方法 （ 規定5 ～ 規定8 ）

ここでは、単科（種目別）の順位決定に関する規定について概略を説明します。

まずは、規定の名称について、覚えて下さい。



2. 単科の順位決定 (種目別)	規定5	過半数
	規定6	多数決
	規定7(a)	上位加算
	規定7(b)	下位比較
	規定8	繰り上げ

◆ 規定5（過半数）

単科の順位は、「審査した審判員の、過半数以上の支持を獲得した順位点で判定する」という規定で決定します。合計点とか平均点で判定しようとか言うのではなく、過半数をの支持を得た順位点の多寡で決まります。

※ 尚、単科に於ける順位決定での、以下の説明に於ける『順位』とは、この審判員の過半数以上の支持を得た順位の事を示します。また、順位以内と言う表現は、この順位の値よりも数値の少ない順位を全て示します。

※ 【注意】

スケータリングの単科順位決定に於いて、以下のルール適用は、規定5を適用した結果、比較する選手の判定数値が全くの同点と成ってしまい、上位・下位の優劣判断が付かない場合に、順次考慮するものです。

従って、以下▼の規定6から規定8迄を全て、毎回必ず使うということには成りません。

◆ 規定6（多数決）

過半数を占めた順位（規定5）が同順位と成った場合に、

「過半数となった順位以内と判定した審判員数を数え、数の多い方を上位とする」という規定です。

◆ 規定7a（上位加算）

過半数を占めた順位数が同数で、多数決（規定6）で順位の優劣が判別出来ない場合に、

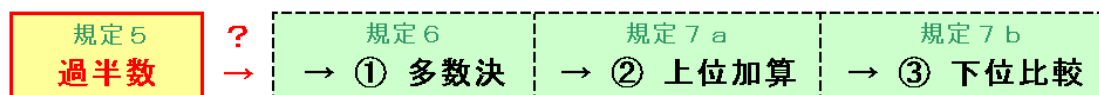
「過半数となった順位以内の順位数字を合計して、小さい方を上位とする」という規定です。

◆ 規定7b（下位比較）

規定7a（上位加算）でも決定できない場合には、

「過半数位置での順位よりも1つ大きい数値の順位以上について、多数決原理で検討し、結果小さい方を上位とする。

もし、その繰下げた順位で同点の場合には、更に検討する順位を1つずつ下げて行って比較を続け、この多数決原理で順位を決める」という規定です。



◆ 規定8（繰り上げ）

ある順位を決めるとき、その順位で過半数に達しないときは、

「1つずつ順位を下げて、規定5～7を適用する」という規定です。

これは、決まるべき順位点の数が、過半数を得た順位数値と異なる場合、この決まるべき順位には、拘らなくて良いと言う理屈です。

※ 注意

尚、後述で詳細を説明しますが、JDSFが推奨する『置き換え法』を使用した場合には、この規定8は自動的に適用されたことに成り、規定5～7迄を駆使することだけで、一意的に結果が求まります。（← 便利です♪）

■ 規定パート3 総合の順位決定方法 (規定9 ~ 規定11)

ここでは、総合の順位決定に関する規定について概略を説明します。

ここでも、規定の名称について、覚えて下さい。

3. 総合の順位決定	規定9	合計点
	規定10(a)	多数決
	規定10(b)	上位加算
	規定11	再スケータリング

◆ 規定9 (合計点)

総合の順位決定は、「単科種目全ての順位を合計し、合計数値の小さい順に上位とする」という規定で決定します。この時点で、同点でない組の順位は、一意的に決定されます。

※ 規定9で同点の場合 【注意!】

総合の順位決定の場合も、比較する選手の判定条件が、規定9で同点と成ってしまい、上位・下位の優劣判断が付かない場合には、単科順位の決定の時と同じように、次の規定10以上のルール適用を、やはり順次考慮します。

従って、単科の場合と同様、以下の規定10(a及びb)から11迄を全て、毎回必ず使うということでは有りません。

※ 『決めるべき順位』の概念

この総合の順位決定に於ける、規定9での同点カップルに対する優劣判定の際には、『決定する順位』が、検討の際の重要なポイントと成ります。

単科での順位決定で、『置換え法』を使用して同点になった場合には、ルールを順次適用させて行くと、最終的な順位が一意的に決まりますが、総合での規定9同点の場合の順位決定では、『決定する順位』によって、その結果が変わります。従って、このことは最終結果を得る為の、重要な要素に成るのです。

この概念は、非常に大切な要因であり、これの完璧な理解が必要です。これについては詳細を後述します。

→ 尚、総合の順位決定に於ける以下の説明における『順位』とは、この決定したい順位の事を言います。

◆ 規定10a (多数決)

合計点(規定9)が同点で有る組に対して、

「決定しようとする順位以内を得た、単科種目数の多い方を、上位とする」と言う規定です。

◆ 規定10b (上位加算)

決定しようとする順位以内の種目数(規定10a)が同数で、上記の多数決で順位を決定出来ない場合には、

「決定しようとする順位以内を得た単科種目の、順位数値を合計(上位加算)して、小さい方の選手を上位とする」と言う規定を、次に適用します。

◆ 規定11 (再スケート)

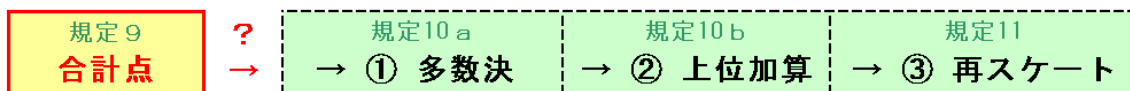
上記の規定10a・10bによっても、最終的な順位を決定出来ない場合には、

「競技実施した単科の全種目について、全ての審判員が判定した順位全部を、あらかも1つの種目とみなして統合し、単科の規定5~規定8を順次適用して順位を決定する」と言う定義を適用します。

但し、単科のそれと異なる点は、単純に過半数位置での優劣で順位が決定するのではなく、ここでも『決定する順位』が、検討の際の重要なポイントと成ります。詳細については、後述します。

→ また、この規定11を採用した場合には、最終段階までの検討が必要に成ったと言う意味合いで、この規定を適用したカップルについては、優先的に順位を付ける事が望まれます。

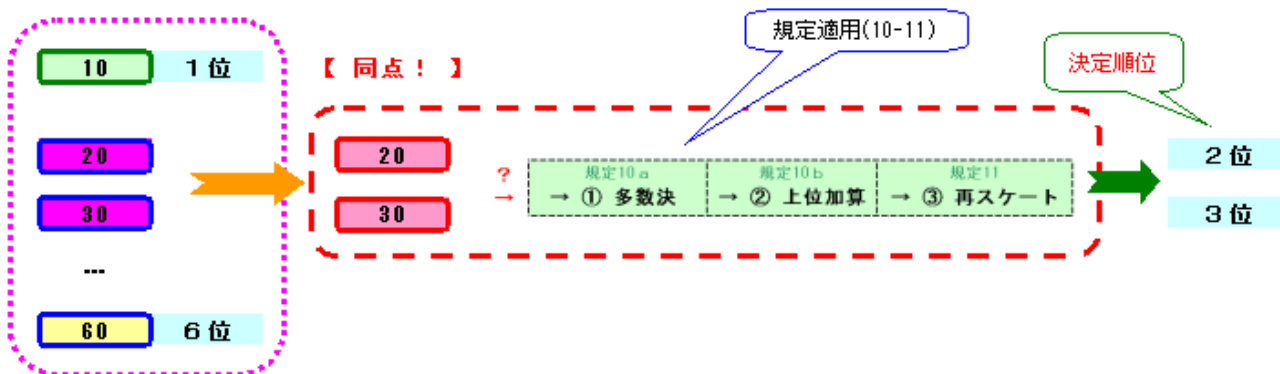
従って、順位決定を優先するグループ分けの概念が生じます。この概念の理解も重要なポイントと成ります。



◆ 規定 9 が同点に成った後の順位決定方法 ※ 【 決定順位 】 規定 10 - 11 の適用に於いて…

1) 同点が 2 組の場合

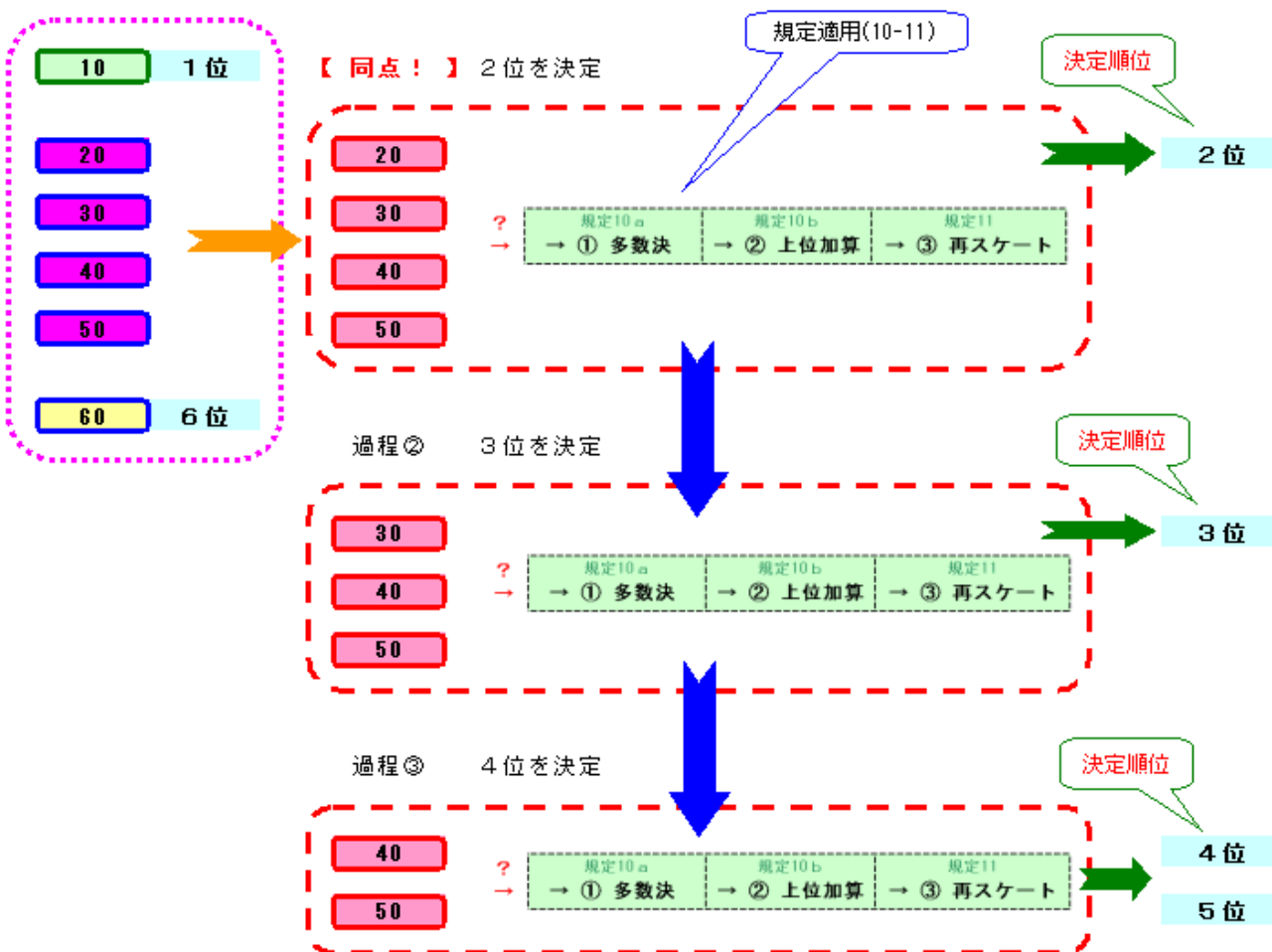
下記例のように、同点の組のみに対して、10以降の規程を適用し、最終的に順位が決定します。



2) 同点が 3 組以上の場合

下記例では、4 組が同点と成っています。1 位・6 位は規程 9 で確定しているので、同点となった組の中から、順に、2 位～4 位を選出していきます。

- ① 先ず 2 位を、決定する順位として、規定 10 以上を順次適用させて、2 位の組を選びます。
- ② 次に 2 位に該当した組を除いた複数の組に対して、次の 3 位決定します。
この場合、3 位を決定する順位として、残りの組から①と同様に、規定 10 以上を適用して 3 位を決定します。
- ③ 更に、この 3 位に該当する組を除いた、残りの組の中から、②と同様に、残りの組に対して、次の順位を決定します。
- ④ 残りの組が 1 組に成るまで、上記操作を繰り返していきます。



このように、『 決定する順位 』を基に、順位決定のプロセスを進めます。

◆ 規定 9 適応後、同点者が 3 組以上の場合

前頁で図説したように、規定 9 の適用後、同点者が 2 組の場合は、規定 10～11 を順に適用すれば比較的楽に、結果を求めることが出来ます。

しかし、3 組以上となった場合には、手順が複雑に見えます。しかもこの場合には、規程の追加として、少々厄介な約束事が増えるので、注意が必要に成ります。

同点者が 3 組以上となった場合の総合判定では、以下の 3 つのルールが追加摘要されます。

1) 【 規定 10 の再帰 】

- 規定 9 同点者の中から規定 10 を用いて、最上位の組を決定する順位として選出した後は、残りの規定 9 同点者の中から、次の決定順位を元に、規定 10 を適用して上位者を求めます。
この処理は、同点者が無くなるまで、再帰的に繰り返されます。

2) 【 規定 11 の適用によるグループ分け 】

- 規定 10 の適用後も、同条件で差が付かないカップルが複数有る場合は、その条件に該当するカップルのみ次の規定 11 の判定に進みます。
この場合、規定 11 に進むカップルは、規定 10 適用で保留と成っているカップルより優位で有るとします。
従って、規定 11 に進むカップルと、それ以外のカップルとの二つのグループに分けて順位付けを実行する事が必須で、先ず規定 11 に進んだカップルの順位を優先して決定します。

3) 【 再スケーティング時での、規定 10 の再帰 】

- 上記 2) の場合で、規定 11 適用に成るのが 3 組以上の場合、更に注意が必要です。
それは、3 組以上の場合、決めるべき順位の判定条件に因っては異なる結果が導き出されるため、一つずつ、順位を決定する必要が有るのです。
従って、1 組を抽出した後は、残りのカップルから、次の順位条件で、規定 10 に戻って、順位決定を行わなければ成りません。

▲ これらについては、第 3 章で詳細に説明します。

2. 単科の順位決定 (種目別)	規定5	過半数
	規定6	多数決
	規定7(a)	上位加算
	規定7(b)	下位比較
	規定8	繰り上げ

■ 単科の順位決定

種目毎の単科に於ける順位計算方法については、以下に示す2通りの方法があります。

1. 表計算法 (通常法)
2. 置換え法 (簡便法)

JDSFでは、1. の表計算法の使用は、その計算手順が複雑なので、手計算には向いていない！と考えています。
従って、2. 置換え法 の使用を推奨しています。

■ 表計算法 (通常法) (注: 計算手順が複雑で手計算には向かない!)

この方法は少々計算手順が厄介なので、手計算で処理するには余り向いていないと考えています。
もちろんコンピュータ等で処理する場合には問題にならないので、競技会支援システム等のソフトではこの方法が使われています。手計算の場合には、次に説明する『置換え法』が良いと思いますが、一応の基礎知識として通常の表計算方法も理解しておいて下さい。

◆ 過半数

通常法で順位決定を行う場合、もっとも重要なパラメータは審査員数 (実際はその過半数) です。
この過半数をまず認識します。

→ 下記に示す例では、6組の決勝進出者に対し、AからEの記号を付けた審判員がそれぞれ順位を付けています。
この場合、キーとなる過半数は、審査員数 ÷ 2 = 2.5 → 3 と成ります。

◆ 過半数以上を獲得出来た順位の拾い出し

計算枠中央にある順位部分には、以下のような手順で数値を拾い出し、書き込みます。

- ① 選手毎に順位枠内に決められている順位の範囲内で、獲得出来た順位の数を数え、その合計数が過半数に達した所の枠にその個数を書き込みます。
→ 例えば、1 & 2の枠では、左の審査員が付けた順位のうち、1位と2位の数を拾います。
1 ~ 3は1位から3位までの数値と言う具合です。
- ② 次の、同じ縦の位置に同じ個数の数値が合った場合には、その順位の数を合計し、その合計数を () 内に書き出します。
→ 例えば、1 & 2の枠では、30番と50番の選手が同じ3個を獲得しているので、その獲得した、1, 2, 2位の合計値5を () 内に書いています。
- ③ 個数も合計値も同じ場合には、次の順位 (右枠) に移り、同じ手順を繰り返します。

◆ 順位付け

上位の順位でいち早く過半数になる順位を獲得した選手が上位となります。
同点になった場合に、更に別の要因を検討して順位を決定していくのがスケータリングシステムです。
言い換えると、スケータリングシステムは、過半数の順位獲得を基本に順位決定を行い、同点となった場合に、更に選別する方法を予め決めてあるルールであると言えます。

背番号	審査員記号					順位						決定順位
	A	B	C	D	E	1	1 & 2	1 ~ 3	1 ~ 4	1 ~ 5	1 ~ 6	
10	6	5	6	4	3					3		6
20	2	1	5	1	1	3						1
30	5	6	1	2	2		3 (5)	3 (5)	3 (5)	4		3
40	3	3	3	3	6			4				4
50	1	2	2	5	5		3 (5)	3 (5)	3 (5)	5		2
60	4	4	4	6	4				4			5

■ 置換え法 （ こちらの方法を推薦する！ ）

前述の表計算法では少なからず計算を実施しながら該当位置を判別して数値を書き込むと言った、有る意味煩雑な手順を取らなければなりません。

◆ 置換え法は簡単

これに対して、置換え法では審査員が付けた順位を小さい順に並べ替えるだけです。

まず、数値の少ない順に左側から転記していきます。この操作だけで過半数位置の枠内を確認し、数値の少ない順に順位が決定します。

ここの数値が1でないのに1位だったり、4なのに3位だったり不可解な結果も時には起こりますが、チャンと順位が決まります。それがスケーティングの不思議な決定法なのです。

◆ ロジックは表計算法と全く同じ

ここの数値が同じに成った場合には、通常法と同じくスケーティングの決定ロジックを使って順位を決定することになりますが、置換え法で実施した場合には、過半数枠の右側を比較したり、左側の合計値を比べたりと言った、簡単な確認作業で順位を決定することが出来ます。

◆ JDSF 推奨

置換え法も同点の条件が進むうちには計算自体をする必要が有る場合も有りますが、比較的簡単に結果を導く事が出来るので、手計算の場合、JDSFではこちらの置換え法を推奨しています。

因みに、通常法で実施しても置換え法で実施しても、その結果はどちらも同じに成ります。

背番号	審査員記号				
	A	B	C	D	E
10	6	5	6	4	3
20	2	1	5	1	1
30	5	6	1	2	2
40					
50					
60					

① → 小さい順に転記します

→ 小さい順に転記します					決定順位
—	—	—	—	—	
3	4	5	·	·	
1	1	1	2	·	

背番号	審査員記号				
	A	B	C	D	E
10	6	5	6	4	3
20	2	1	5	1	1
30	5	6	1	2	2
40	3	3	3	3	6
50	1	2	2	5	5
60	4	4	4	6	4

② 過半数位置にマーク付け

並べ替え終了

並べ替え終了					決定順位
—	—	↓	—	—	
3	4	5	6	6	
1	1	1	2	5	1
1	2	2	5	6	2
3	3	3	3	6	
1	2	2	5	5	?
4	4	4	4	6	

③ 小さい順に順位決定 …

置換えて、スケーティングを適用

◆ 手順1 置き換え転記 (小さい順に並び替え)

通常法では該当位置に過半数以上獲得数を書き込むと言った処理を実施しますが、置換法では審査員が付けた順位を小さい順に並び替えます。まず、数値の少ない順に左側から転記していきます。

背番号	審査員記号					→ 小さい順に転記します	決定順位
	A	B	C	D	E		
10	1	5	1	1	2	1 1 1 2 5	
20	2	2	5	4	1	1 2 2 . .	
30	3	3	3	2	3		
40	4	4	2	3	4		
50	5	1	4	5	5		
60	6	6	6	6	6		

◆ 手順2 過半数位置マーク

次に審査を担当した審判員数を確認して、過半数の値を計算します。その位置に、順位判断のための、仕切りの枠を作ります。並び替えた枠内の過半数位置の枠を上から下まで太線もしくは赤鉛筆等で仕切ります。

背番号	審査員記号					→ 小さい順に転記します	決定順位
	A	B	C	D	E		
10	1	5	1	1	2	1 1 1 2 5	
20	2	2	5	4	1	1 2 2 4 5	
30	3	3	3	2	3	2 3 3 3 3	
40	4	4	2	3	4	2 3 4 4 4	
50	5	1	4	5	5	1 4 5 5 5	
60	6	6	6	6	6	6 6 6 6 6	

◆ 手順3 順位決定 (規定5 ~ 規定8を適用)

単科の順位決定では、規定5から規定8までの判断基準に照らし合わせて順位を決定します。最初は規定5の過半数に準拠する訳ですが、これは、中央に設置した過半数枠内の数値を見比べ、それらの数値の大小から順位が決定出来ます。このとき、枠内の全ての数値に、同じ数値が無ければ(重複していなければ)この時点で自動的に順位が決定します。重複していた場合には、その度に、次の規定6から8の判定基準を順次使用し、比較決定して行きます。すなわち、**使用する判断基準で同順位だった場合には、次の判断を使用する**と言うことです。

- 1) 過半数 → 枠位置での数値で順位決定。(少ない順)
※ 過半数で同点に成った場合、以降の規定を順次適用します。
- 2) 多数決 → 枠位置の数値が枠の右側に、更に幾つ有るかで順位決定。 (多い方が上)
- 3) 上位加算 → 枠左側の数値を全て合計し、合計値の比較で順位決定。 (少ない方が上)
- 4) 下位比較 → 枠位置の右側を順に比べて行って順位決定。 (少ない方が上)
- 5) 同点 → 上記4つの判定では差が付かない場合には、最終的に同順位。

▼ 次頁からは、上記判断の詳細について説明します。

● 過半数による順位決定 (規定5)

◆ 枠内の数値の大小で順位が決定 (小さい順に上位)

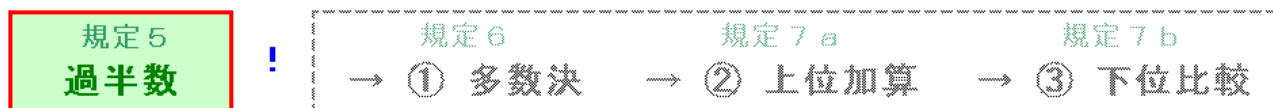
規定5は『審判員の過半数が付けた順位で判別する』です。

置換法に於ける過半数枠内の数値の意味は、その選手が全ての審判員から支持された順位の過半数が、その順位に該当するということです。

従って、選手毎に、この獲得した過半数の順位(数値)がそれぞれ独立している場合(未重複)には、この時点で順位が確定します。

◆ 例題

→ 下記の例では、枠内の順位が全て重複せずに独立しています。従って、数値の小さい順に順位を付けてしまいます。



背番号	審査員記号					→ 小さい順に転記します	決定順位
	A	B	C	D	E		
10	1	5	1	1	2	1	1
20	2	2	5	4	1	2	2
30	3	3	3	2	3	3	3
40	4	4	2	3	4	4	4
50	5	1	4	5	5	5	5
60	6	6	6	6	6	6	6

【規定5】 過半数位置の、数値の多寡で順位を付ける

↑ 重複無し、よって順位が決定

注) 全ての選手に重複が無ければ、枠内の数値と順位は一致します。但し、重複が有って次の規定を判断に使うようなケースでは、必ずしも過半数での数値がその順位になるとは限りません。こう言った所が、スケージングの理解を少し難しくしています。

【 過半数位置と決定順位 】

◆ --- ささやかな疑問! --- ◆

→ 小さい順に転記します					決定順位
—	—	—	—	—	
1	2	4	6	6	4
2	2	5	5	6	6
1	1	2	3	5	1
1	3	3	4	6	2
1	2	4	4	5	3
3	3	4	5	6	5

4位は納得!

5なのに6位?

2なのに1位?

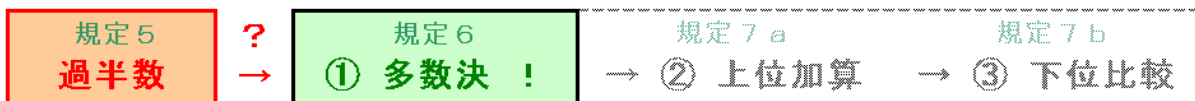
3なのに2位?

同じ4で3位? 5位?

● 多数決による順位決定 (規定6)

◆ 枠内の数値が右側に何処まで続いているかで順位が決定 (多い方が上位)

規定6は『2組以上の選手が同じ順位の過半数を得た場合には、より多くの過半数を得た組が上位となる』です。
 2組以上の選手が同順位で過半数を得た場合には、規定5(過半数)では順位の識別が出来ません。従って、この該当する選手に対して、次のこの規定6(多数決)を使用します。
 この多数決では、同順位となった選手の過半数枠内の数値を、枠の右側に見て行き、更にあと幾つ有るかを比べて順位の識別をします。



背番号	審査員記号				
	A	B	C	D	E
10	3	1	4	1	1
20	2	2	1	4	2
30	1	5	2	2	5
40	4	6	3	5	4
50	5	4	5	3	6
60	6	3	6	6	3

→ 小さい順に転記します				
—	—	↓	—	—
1	1	1	3	4
1	2	2	2	4
1	2	2	5	5
3	4	4	6	6
3	4	5	5	6
3	3	6	6	6

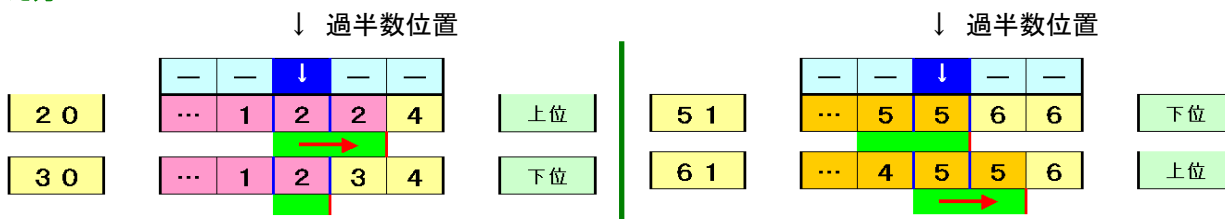
決定順位	
1	
2	
3	
4	
5	
6	

【規定5】 過半数位置の、数値の多寡で順位を付ける
 → 過半数位置の数値が同じ場合↑ [○ 枠内]
 【規定6：多数決】 同点者の右側(→)を見比べる
 ※ 右に延びている方が多数取得で優位のため、上位

◆ 例題

- 上記の例ではまず、過半数位置の数値が独立している20番と30番以外の選手の順位が確定します。
- 次いで、20番と30番の選手が『2』で同順位です。この場合は、2位・3位を決めます。過半数位置では識別が付きません。従って、下記のように過半数位置での数値『2』が、その右側に何処まで有るかを調べます。この例では20番の選手が30番の選手より1つ多く『2』を持っているので、20番の上位が確定し、2位となります。30番は3位です。

◆ 考え方



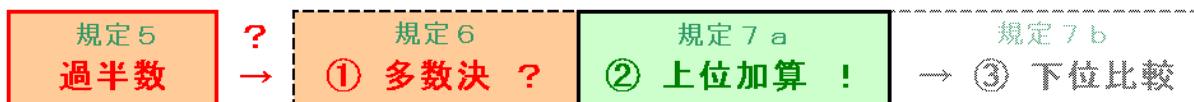
- 多数決では、それぞれの過半数位置の数値が、更に右に多く有る方が上位と成ります。
- 上記右側の例を見ると、51番と61番の選手の過半数位置が『5』で同順位です。この場合の、どちらが上位かを判断します。例題と同様に、過半数位置では識別が付きませんので、同じく右側に『5』が何処まで有るかを調べます。この例では61番の選手が51番の選手より1つ多い『5』を持っているので、61番の上位が確定し、51番の下位が決まります。最終的に順位が付きます。

● 上位加算による順位決定 (規定7a)

◆ 過半数枠の左側の数値を合計して比較し、順位を決定 (少ない方が上位)

規定7aは『2組以上の選手が同じ順位で同数の過半数を得た場合には、その過半数に数えられた審判員の順位を合計し、その合計値の少ない組を上位とする』です。

2組以上の選手の過半数位置での数値が同順位で、更に同数の過半数を得て居る場合には、規定5(過半数)及び規定6(多数決)では順位の識別が出来ません。従って、この該当する選手に対して、この規定7a(上位加算)を使用します。この上位加算では、同順位となった選手の獲得した順位の内、過半数枠内の左側の数値を全て合計して比較し、少ない方を上位とします。



背番号	審査員記号				
	A	B	C	D	E
10	1	1	1	4	5
20	3	2	5	1	2
30	2	4	2	2	6
40	6	3	4	3	1
50	5	5	3	5	3
60	4	6	6	6	4

→ 小さい順に転記します				
—	—	↓	—	—
1	1	1	4	5
1	2	2	3	5
2	2	2	4	6
1	3	3	4	6
3	3	5	5	6
4	4	6	6	6

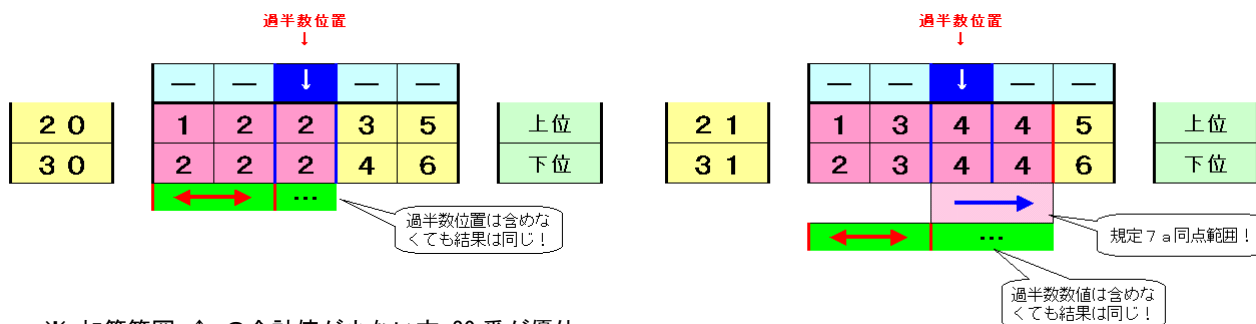
決定順位
1
2
3
4
5
6

- 【規定5】 過半数位置の、数値の多寡で順位を付ける
→ 過半数位置の数値が同じ場合 ↑ [○ 枠内]
- 【規定6：多数決】 同点者の右側(→)を見比べる
※ 右に延びている方が多数取得で優位だが、同点
- 【規定7a：上位加算】 左側(←)の合計値を比較
※ 合計値の少ない方が上位加算値で優位のため、上位

◆ 例題

- 上記の例ではまず、過半数位置の数値が独立している20番と30番以外の選手の順位が確定します。
- 20番と30番の選手の過半数位置が『2』で同順位です。この場合、どちらかが2位に成ります。過半数位置では差が無いので、次に規定6(多数決)で、右側に延びている個数を調べます。が、これを用いても決定出来ません。そこで、規定7a(上位加算)に進み、過半数枠より左側の数値を全て足して各々比べます。この例では、20番の選手の合計点が『3』と成り、30番の選手は『4』と成ります。従って、合計点の少ない20番が上位と成り、2位が確定します。

◆ 考え方



※ 加算範囲 ↑ の合計値が少ない方 20番が優位

※ 規定7a同点の場合 ↑ も、加算範囲は変わらない

● 下位比較による順位決定 (規定7b)

◆ 過半数枠の右側の数値を順に比較して、順位を決定 (小さい方が上位)

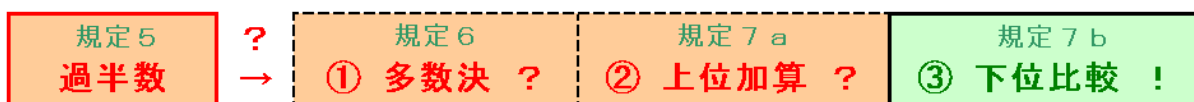
規定7bの規定は、

『 2組以上の選手が同じ順位で同数の過半数を得、その過半数に数えられた審判員の順位を全て合計しても順位を決定できない場合には、1つ下の順位以上について、多数決原理で決める。

それも同じときは、更に1つずつ下の順位に範囲を広げて、多数決原理で決める』です。

2組以上の選手が過半数位置で同順位であり、更に同数の過半数を得た場合で、この合計値が同じ場合には、この該当する選手に対して、次のこの規定7b (下位比較) を使用します。

この下位比較では、同順位となった選手の獲得した順位の内、過半数枠内の右側の数値を順に比較して行き、差が確認された場合少ない方を上位とします。



背番号	審査員記号				
	A	B	C	D	E
10	2	1	5	1	1
20	1	2	2	5	5
30	5	6	1	2	2
40	3	3	3	3	6
50	4	4	4	6	4
60	6	5	6	4	3

→ 小さい順に転記します				
←	←	↓	←	←
1	1	1	2	5
1	2	2	5	5
1	2	2	5	6
3	3	3	3	6
4	4	4	4	6
3	4	5	6	6

決定順位
1
2
3
4
5
6

- 【規定5】 過半数位置の、数値の多寡で順位を付ける
- 過半数位置の数値が同じ場合 ↑ [○ 枠内]
- 【規定6：多数決】 同点者の右側(→)を見比べる
- ※ 右に延びている方が多数取得で優位だが、同点
- 【規定7a：上位加算】 左側(←)の合計値を比較
- ※ 合計値の少ない方が上位加算値で優位だが、同点
- 【規定7b：下位比較】 右側(→)の数値を逐次比較
- ※ 比較で数値の少ない方が優位として、上位

【 注意 】

規定7b (下位比較) は、規定7a (上位加算) のような加算ではなく、“比較”です。
従って、枠の右側全てを合計しその多寡で判断するのではなく、多数決で同点と成っている位置より更に右側の数値を一つずつ、順に繰り下げながら比較し、差が有るか?で識別します。

● 何処まで比較しても差が無い場合の順位決定 → 【 同点 】

◆ その種目は同点として処理

規定5から規定7bまでを全て適用しても、その順位判定結果に差が出ない場合には、その選手達はその種目で、同順位と言う結果が得られます。

下記の例では、20番と30番の選手が、過半数位置では2位で同点。

両者とも右側に2位が伸びていないので多数決も同点。次に、上位加算しても同点です。

更に、下位比較しても全く一致しているため、この20番・30番は2位で同点（同順位2位）と成ります。

規定5 過半数	?	規定6 ① 多数決 ?	規定7a ② 上位加算 ?	規定7b ③ 下位比較 ?
------------	---	----------------	------------------	------------------

背番号	審査員記号					→ 小さい順に転記します	決定順位
	A	B	C	D	E		
10	2	1	5	1	1	— — ↓ — —	1
20	1	2	2	5	6	1 2 2 5 6	同順位 2位 → 2½
30	5	6	1	2	2	1 2 2 5 6	同順位 2位 → 2½
40	3	3	3	3	5	3 3 3 3 5	4
50	4	4	4	6	4	4 4 4 4 6	5
60	6	5	6	4	3	3 4 5 6 6	6

【規定5】 過半数位置の、数値の多寡で順位を付ける

→ 過半数位置の数値が同じ場合 ↑ [○ 枠内]

【規定6：多数決】 同点者の右側(→)を見比べる
※ 右に伸びている方が多数取得で優位だが、同点

【規定7a：上位加算】 左側(←)の合計値を比較
※ 合計値の少ない方が上位加算値で優位だが、同点

【規定7b：下位比較】 右側(→)の数値を逐次比較
※ 比較で数値の少ない方が優位だが、最後まで同じ！

【 同点 】 ※ 最終的に同順位（表記注意）

◆ 3組が同順位の場合

1 1	1 2	1 4	1
2 1	4 3	2 2	5
3 1	5 4	3 1	3
4 1	3 1	5 3	4
5 1	2 5	4 5	6
6 1	6 6	6 6	2

1 1	1	2 4
2 2	3	4 5
1 3	3	4 5
1 3	3	4 5
2 4	5	5 6
2 6	6	6 6

1
同順位 2位 → 2⅓
同順位 2位 → 2⅓
同順位 2位 → 2⅓
5
6

この例では、先ず過半数・多数決で同点です。21番の上位加算が違うように見れますが、合計点では各々、同じ4と成るので、上位加算が同点です。

残る下位比較ですが、最後まで見ても全て同じなので、3組で同点（同順位2位）と成ります。

◆ 単科（種目別）の結果から総合結果へ

以上の判断（ 規程 5 から規程 7 b 迄 ）を元に、単科（種目別）の順位が決定します。
競技会の多くは、この単科を複合した形で実施されるため、総合的な順位は、後述する手法を用いて決定する必要があります。この総合順位決定に於いては、求められた単科毎の順位が、順位点として計算のパラメータとして使われる事になるのですが、最終的に単科で、『 同点 』と成った場合には若干の注意が必要と成ります。

例えば前述の、同点説明の最初のケースに於いては、同順位 2 位となった選手達は、**2 位** と **3 位** を分け合ったので、計算上の順位は **2. 5 位** と成ります。これは 2 位ではありません。
競技が 1 種目の単科戦として実施されたならば、総合的な結果は 2 位同点として表彰されることになるのですが、複合種目で実施される場合の総合計算の順位点パラメータは、**3 位（2. 5 の切上げ）の順位** とし、**順位点は 2. 5** で計算します。

また次の事例で、3 組が同順位に成る場合の総合計算では、同順位の選手達は **2 位** から **4 位** を分け合ったので、同じく、計算上の順位は、平均の **3 位** と成ります。これも 2 位とは成りません。
前述と同様に、複合種目で実施される場合の、総合計算の順位点パラメータは、**3 位の順位（切り上げても同じ）** とし、**順位点は 3. 0** として計算します。

これらのように、単科の順位決定で『 同点 』と成った場合には、その順位点パラメータの取り扱いには、注意が必要です。

● 単科の復習

◆ 単科の順位決定方法

単科は判定する内容に差がない場合、順次4つの規定（規定5～規定8）を使って最終的な順位を決定します。以下の表を参照し、もう一度確認してみてください。

尚、規定8の繰り上げですが、『置換え法』の場合には、予めこの『繰り上げ』処理が、ロジックの中に織り込まれているので、改めて考慮する必要は有りません。

2. 単科の順位決定 (種目別)	規定5	過半数
	規定6	多数決
	規定7(a)	上位加算
	規定7(b)	下位比較
	規定8	繰り上げ

- ① 過半数 まず、過半数位置で、その数値が少ない順に順位が決定
↓
過半数位置に於ける順位点と同じ場合、以下の条件を順に当てはめ、順位を決定する。
- ② 多数決 同点だったら右側にどこまで伸びてるかを見る
※ 長く伸びてる方が上位。条件が同じなら、次の上位加算へ進む。
- ③ 上位加算 過半数位置の左側の数値を全て足す
※ 合計数値の少ない方が上位。同点なら、次の下位比較判断へ進む。
- ④ 下位比較 過半数位置の右側を、順に比較する
※ 順に比べて行き、少ない数値が有る方が上位。
- ⑤ 同点 下位比較の結果、最終枠まで全部同じなら同点

- 注意！！ 1 多数決を抜かすことが多い
注意！！ 2 下位比較を下位加算にしないように

◆ 【参考】 ◆ スケーティング計算に於ける、不思議な計算結果

以下の5例の、1位・2位を計算結果を比べて見てください。

パッと見た印象や、全審査員の付けた順位の単純合計や単純平均を比べても、2位の選手の方が、優勢に思いませんか？ スケーティング方式の結果では、イメージとは違った結果が導かれる場合も有ります。

① 6位が有っても優勝

No.	A	B	C	D	E	結果	-	-	↓	-	-	単純合計	単純平均
10	1	1	1	6	6	1	1	1	1	6	6	15	3
20	2	2	2	1	1	2	1	1	2	2	2	8	1.6
30	3	3	3	2	2	3	2	2	3	3	3		
40	4	4	4	3	3	4	3	3	4	4	4		
50	5	5	5	4	4	5	4	4	5	5	5		
60	6	6	6	5	5	6	5	5	6	6	6		

② 1位が無くても優勝

No.	A	B	C	D	E	結果	-	-	↓	-	-	単純合計	単純平均
10	2	2	2	6	6	1	2	2	2	6	6	18	3.6
20	1	1	3	3	3	2	1	1	3	3	3	11	2.2
30	3	3	1	1	4	3	1	1	3	3	4		
40	4	4	4	2	1	4	1	2	4	4	4		
50	5	5	5	4	2	5	2	4	5	5	5		
60	6	6	6	5	5	6	5	5	6	6	6		

③ 3位ばかりでも優勝

No.	A	B	C	D	E	結果	-	-	↓	-	-	単純合計	単純平均
10	3	3	3	3	3	1	3	3	3	3	3	15	3.0
20	1	1	4	4	4	2	1	1	4	4	4	14	2.8
30	4	4	1	6	2	3	1	2	4	4	6		
40	2	2	5	5	5	4	2	2	5	5	5		
50	5	5	2	1	6	5	1	2	5	5	6		
60	6	6	6	2	1	6	1	2	6	6	6		

④ 3位ばかりか6位が有っても優勝

No.	A	B	C	D	E	結果	-	-	↓	-	-	単純合計	単純平均
10	3	3	3	3	6	1	3	3	3	3	6	18	3.6
20	1	1	4	4	3	2	1	1	3	4	4	13	2.6
30	4	4	1	6	2	3	1	2	4	4	6		
40	2	2	5	5	4	4	2	2	4	5	5		
50	5	5	2	1	5	5	1	2	5	5	5		
60	6	6	6	2	1	6	1	2	6	6	6		

⑤ 全て3位なのに4位

No.	A	B	C	D	E	結果	-	-	↓	-	-	単純合計	単純平均
10	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3	3	15	3.0
20	1	2	4	4	1	2	1	1	2	4	4	12	2.4
30	4	1	2	1	5	3	1	1	2	4	5		
40	2	4	1	2	2	1	1	2	2	2	4		
50	5	5	5	5	4	5	4	5	5	5	5		
60	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6		

《 参照 》 本ページは、『詳細採点管理』 吉田典昭氏 1995年12月10日発行 より抜粋させて頂きました。

■ サンプル事例 (単科の実例)

1. 過半数 : 過半数位置での同順位無し

■ その1 (過半数)												
No.	A	B	C	D	E			↓		決定順位		
11	2	1	1	1	5		1	1	1	2	5	1
12	1	3	2	2	1		1	1	2	2	3	2
13	4	2	3	4	2		2	2	3	4	4	3
14	3	5	4	3	6		3	3	4	5	6	4
15	5	6	5	5	4		4	5	5	5	6	5
16	6	4	6	6	3		3	4	6	6	6	6

2. 過半数 : 過半数位置での同順位無し

■ その2 (過半数)												
No.	A	B	C	D	E			↓		決定順位		
21	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1
22	2	2	2	2	4		2	2	2	2	4	2
23	3	3	3	4	3		3	3	3	3	4	3
24	4	4	5	6	2		2	4	4	5	6	4
25	5	5	4	5	5		4	5	5	5	5	5
26	6	6	6	3	6		3	6	6	6	6	6

3. 多数決 : 過半数位置の数値が右に幾つ延びているか?

■ その3 (多数決)												
No.	A	B	C	D	E			↓		決定順位		
31	3	3	5	1	1		1	1	3	3	5	1
32	4	1	3	6	3		1	3	3	4	6	2
33	1	2	4	4	5		1	2	4	4	5	3
34	6	5	1	2	4		1	2	4	5	6	4
35	5	4	2	3	6		2	3	4	5	6	5
36	2	6	6	5	2		2	2	5	6	6	6

検討処理		根拠		
1位決定	3位決定	多数決	上位加算	下位比較
多数決		4		
多数決		3		
	多数決	4		
	多数決	3		

4. 多数決 : 過半数位置の数値が右に幾つ延びているか?

■ その4 (多数決)												
No.	A	B	C	D	E			↓		決定順位		
41	1	2	6	1	1		1	1	1	2	6	1
42	2	5	3	2	3		2	2	3	3	5	2
43	6	4	2	3	2		2	2	3	4	6	3
44	3	3	4	6	4		3	3	4	4	6	4
45	4	6	1	4	5		1	4	4	5	6	5
46	5	1	5	5	6		1	5	5	5	6	6

検討処理		根拠		
2位決定	4位決定	多数決	上位加算	下位比較
多数決		4		
多数決		3		
	多数決	4		
	多数決	3		

5. 上位加算 : 過半数位置右側の数値の合計値が少ない方?

■ その5 (上位加算)												
No.	A	B	C	D	E			↓		決定順位		
51	1	6	1	2	3		1	1	2	3	6	1
52	2	3	3	3	2		2	2	3	3	3	2
53	6	1	4	1	4		1	1	4	4	6	3
54	3	4	5	4	1		1	3	4	4	5	4
55	4	5	2	5	5		2	4	5	5	5	5
56	5	2	6	6	6		2	5	6	6	6	6

検討処理	根拠		
3位決定	多数決	上位加算	下位比較
上位加算	4	2	
上位加算	4	4	

6. 多数決 & 上位加算

■ その6 (多数決・上位加算)												
No.	A	B	C	D	E			↓			決定順位	
61	1	2	4	1	4		1	1	2	4	4	1
62	3	1	3	3	2		1	2	3	3	3	2
63	4	3	5	2	1		1	2	3	4	5	3
64	2	5	2	4	3		2	2	3	4	5	4
65	5	4	1	5	5		1	4	5	5	5	5
66	6	6	6	6	6		6	6	6	6	6	6

検討処理		根拠		
2位決定	3位決定	多数決	上位加算	下位比較
多数決		5		
多数決	上位加算	3	3	
多数決	上位加算	3	4	

7. 下位比較 & 多数決

■ その7 (多数決・下位比較)												
No.	A	B	C	D	E			↓			決定順位	
71	1	5	1	1	3		1	1	1	3	5	1
72	4	1	3	2	2		1	2	2	3	4	2
73	3	2	2	5	1		1	2	2	3	5	3
74	6	4	4	6	4		4	4	4	6	6	4
75	5	3	5	3	6		3	3	5	5	6	5
76	2	6	6	4	5		2	4	5	6	6	6

検討処理		根拠		
2位決定	4位決定	多数決	上位加算	下位比較
下位比較		3	3	3 → 4
下位比較		3	3	3 → 5
	多数決	4		
	多数決	3		

8. 下位比較 & 多数決 & 上位加算

■ その8 (上位加算・下位比較)												
No.	A	B	C	D	E			↓			決定順位	
81	4	1	2	3	1		1	1	2	3	4	1
82	1	5	1	2	3		1	1	2	3	5	2
83	2	2	3	4	2		2	2	2	3	4	3
84	3	4	5	1	5		1	3	4	5	5	4
85	5	3	4	6	4		3	4	4	5	6	5
86	6	6	6	5	6		5	6	6	6	6	6

検討処理		根拠		
1位決定	4位決定	多数決	上位加算	下位比較
下位比較		3	2	3 → 4
下位比較		3	2	3 → 5
多数決		3	4	
	上位加算	3	4	
	上位加算	3	7	

9. 同点 & 多数決

■ その9 (多数決・同点)												
No.	A	B	C	D	E			↓			決定順位	
91	2	3	6	1	2		1	2	2	3	6	1
92	3	1	1	5	5		1	1	3	5	5	2
93	1	4	4	6	3		1	3	4	4	6	3(3.5)
94	4	6	2	2	4		2	2	4	4	6	3(3.5)
95	6	2	3	4	6		2	3	4	4	6	5
96	5	5	5	3	1		1	3	5	5	5	6

検討処理		根拠		
3位決定		多数決	上位加算	下位比較
同点		4	4	4 → 6
同点		4	4	4 → 6
上位加算		4	5	

10. 同点

■ その10 (同点)												
No.	A	B	C	D	E			↓			決定順位	
101	1	4	3	2	1		1	1	2	3	4	1
102	4	1	5	3	3		1	3	3	4	5	2
103	2	5	2	4	6		2	2	4	5	6	3(4.0)
104	3	6	1	5	4		1	3	4	5	6	3(4.0)
105	5	2	4	6	2		2	2	4	5	6	3(4.0)
106	6	3	6	1	5		1	3	5	6	6	6

検討処理		根拠		
3位決定		多数決	上位加算	下位比較
同点		3	4	5 → 6
同点		3	4	5 → 6
同点		3	4	5 → 6

3. 総合の順位決定	規定9	合計点
	規定10(a)	多数決
	規定10(b)	上位加算
	規定11	再スケータィング

■ 総合の順位決定方法

● 総合の順位計算操作及び決定方法

◆ 転記（総合計算枠に、単科の結果を記入）そして、合計

- ① まず、それぞれの単科で決定した順位を、総合計算枠内に転記します。
※この時に、種目名を記入することを忘れないでください。

》単科結果

背番号	Wz					Tg					Sf					Qs								
	A	B	C	D	E	順	A	B	C	D	E	順	A	B	C	D	E	順	A	B	C	D	E	順
1	3	3	4	1	1	1	5	3	3	1	1	2	4	3	1	1	1	1	2	4	4	1	1	1
7	1	5	5	3	3	2	3	4	2	2	2	1	2	1	5	3	2	2	5	1	1	2	5	2
13	2	2	3	6	6	3	2	1	4	3	3	3	3	5	2	4	4	4	6	2	2	5	2	3
15	4	1	6	4	2	4	1	5	1	4	6	4	5	4	3	2	3	3	3	5	5	3	3	4
23	6	4	2	2	4	5	6	2	5	6	4	5	6	6	6	6	6	6	4	3	6	4	4	5
33	5	6	1	5	5	6	4	6	6	5	5	6	1	2	4	5	5	5	1	6	3	6	6	6

① 転記

》総合計算

背番号	Wz	Tg	Sf	Qs	合計	総合順位
1	1	2	1	1	5	1
7	2	1	2	2	7	2
13	3	3	4	3	13	3
15	4	4	3	4	15	4
23	5	5	6	5	21	5
33	6	6	5	6	23	6

② 個々に合計して

③ 順位を決定

- ② 続いて選手毎に、転記した各単科結果の順位数値を全て合計し、枠右側に有る合計欄に記入します。
※当然ですが、足し算を間違えないように！

◆ 順位決定（基本、規定9で決定。同点の場合には、規定10及び規定11を順次適用）

- 1) 総合の順位決定ではまず、規定9【合計点】に準拠して順位を決定します。
これは、上記操作で合計欄の数値を見比べ、それらの数値の多寡で順位を決定します（少ない方が上位です）。
このとき、同じ数値が無ければ（＝重複無し）、この時点で順位が確定します。
- 2) 重複していた場合にはそのつど、規定10並びに規定11の判定基準を順次適用し、比較決定して行きます。
この順次適用とは、適用した規定（判断基準）に於いて更に同順位で在る場合には、その同点者達に対して、更に次の規定を適用して判断するということです。
なお、この際には、『決めるべき順位は何位か？』と言う点が、非常に重要なポイントとなります。
- 3) 適用する規定
- 合計点が重複している選手達それぞれには、以降の規定を順次適用します。
この過程に於いて、最上位と判定された選手に対して、その時点での決めるべき順位を付与します。
 - ① 規定10a 【多数決】 → 決定する順位以内の、数値の個数を数えて、優劣を決定する。
数の多い方が上位と成ります。同数の場合は、②へ。
 - ② 規定10b 【上位加算】 → 上記で数えた順位数値の全てを合計し、その合計値の多寡で、優劣を決定。
合計値の少ない方が上位と成ります。同点の場合は、③へ。
 - ③ 規定11 【再スケート】 → この規定まで同点となった選手達については、各々の全単科の取得順位を統合してひとつの単科とみなし、規定6・7及び8に照らし合わせて優劣の判定を実施します。
- ※ 3組以上が同点に成った場合は、更に複雑な考慮が必要と成ります。このケースについては、後述します。

▼ 次頁からは、上記判断の詳細について説明します。

● 合計点による順位決定 【規定9】 【… 規定9のみで決まると嬉しい！】

◆ 合計値枠内の、数値の多寡で順位が決定（小さい順に上位）

規定9では、『単科として実施した種目ごとの順位を合計し、その合計数値の少ない順に上位とします』
よって、合計点の数値がそれぞれに独立している場合（=未重複）、この時点で順位が確定します。

◆ 例題

→ 下記の例では、合計枠内の数値が全て重複せずに独立しています。
従って、数値の小さい順に順位を付け、最終的な順位が確定します。

規定9
合計点

!

規定10a
→ ① 多数決

規定10b
→ ② 上位加算

規定11
→ ③ 再スケート

背番号	種目				→ 合計	→	→ 10a	→ 10b	決定順位
	Wz	Tg	Sf	Qs	—	検討順位	多数決	上位加算	
10	1	2	2	2	7				1
20	3	1	1	4	9				2
30	2	3	3	3	11				3
40	4	4	4	1	13				4
50	5	5	5	6	21				5
60	6	6	6	5	23				6

【規定9】 合計点の少ない順に順位を付ける

◆ 単科同点が含まれる場合

→ 単科の順位において、同点が含まれる場合の合計点については、次の様に扱います。
単科で同点だった場合の順位は、例えば2組が1位で同点の場合、 $[1^{1/2}]$ のように表示しています。
合計点を計算するのに使用する数値は、その同点者達が専有するであろう順位範囲の平均値となります。
つまり、1位で2組が同点ならば、1位と2位の数値を足して割った平均値となり、3位で3組が同点の場合には、3位～5位まで専有範囲の、順位数値の平均値と成ります。
下記例で、ご確認ください。

1) 【内容】 Wz 2人が1位で同点 → 【順位数値】 $1.5 = (1+2) \div 2$

No.	Wz	Tg	Sf	Qs	合計
10	1 1/2	1	3	1	6.5
20	1 1/2	2	1	4	8.5
30	3	3 1/3	2	3	12.0
40	4	3 1/3	4	2	14.0
50	5	3 1/3	5	6	20.0
60	6	6	6	5	23.0

2) 【内容】 Tg 3人が3位で同点 → 【順位数値】 $4.0 = (3+4+5) \div 3$

※ 単科同点の場合のこの順位数値は、合計値を算出する際の、重要なポイントです。
また、小数点付きの順位に関しては、次に説明する多数決でも、重要なポイントに成っています。

● 合計値枠内の数値が、重複して同点で在る組が存在する場合 【 考え方の説明です 】

◆ 重複していない組の順位を確定。重複組は、次の規定（規定 10 及び規定 11）を適用し検討します
総合の順位決定の基本は、規定 9 の合計値です。

したがって、この合計値が重複していない組に関しては、その時点で順位が決定されます。

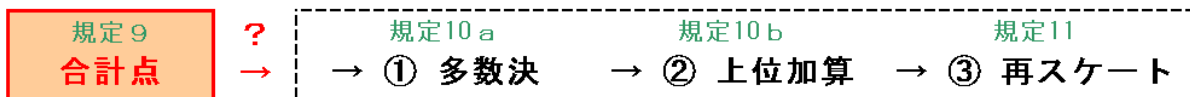
検討順位の中で重複している組が在る場合には、重複している順位の範囲を考慮した順位を設定します。

◆ 合計点が同点のパターンは、以下の 2 通りが考えられます。

→ 【 合計点同点が 2 組 】

下記の例では、2 番目に相当する合計点の組が 2 組居ます。

そこで、この 2 組が得るであろう 2 位・3 位の専有順位を除き、その他の合計点が重複していない組の検討順位として、合計点に準じた順位を付けています。（ここでの検討順位は、即、決定順位です。）



背番号	種 目				→ 合計	→ 検討順位	→ 10a 多数決	→ 10b 上位加算	決定順位
	Wz	Tg	Sf	Qs					
10	1	2	2	2	7	1			1
20	2	3	1	4	10	2位?	???	???	2
30	3	1	3	3	10		???	???	3
40	4	4	4	1	13	4			4
50	5	5	5	6	21	5			5
60	6	6	6	5	23	6			6

【規定 9】 合計点の少ない順に順位を付ける
→ 合計点と同じ組に対して、順位付けを実行
【規定 10a、規定 10b 及び 規定 11】 順次適用して検討する

→ 【 合計点同点が 3 組以上 】

また下記の例では、2 番目に相当する合計点の組が 4 組居ます。したがって上記同様、この 4 組が得るであろう 2 位～5 位の専有順位を除き、その他の合計点が重複していない組の順位は確定します。

このケースのように、同点が 3 組以上と成る場合の順位決定は、より複雑な検討手法が適用されます。

これは、決めるべき順位についての概念と、規定適用範囲がその注意点と成りますが、本書では之について、別途詳細を後述しています。

背番号	種 目				→ 合計	→ 検討順位	→ 10a 多数決	→ 10b 上位加算	決定順位
	Wz	Tg	Sf	Qs					
10	1	5	2	1	9	1			1
20	5	2	1	6	14	2位?	???	???	2
30	2	6	3	3	14	3位?	???	???	3
40	4	4	4	2	14	4位?	???	???	4
50	3	1	6	4	14		???	???	5
60	6	3	5	5	19	6			6

● 多数決による順位決定 (規定10a) 【規定9同点、その後の最初のステップ】

◆ 決定する順位以内を獲得した、単科の種目数の多寡で決定 (多い方が上位)

規定10aでは、『合計点が同点に成っている組全てについて、決定しようとする順位以内の、単科の種目数を数え、この獲得数の多い方を上位とします』。

最も注意すべき点は、『決定しようとする順位』で、その順位以内を獲得した単科を数えます。

例えば、決定順位が1位なら1位だけを、3位なら1位・2位・3位の順位を獲得している個数を数えます。

この獲得個数の一番多い選手が、最優位となって該当順位を得ます。

◆ 例題

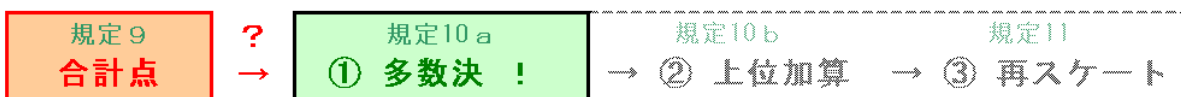
→ 決定順位は『1位』、1位を数える。

下記の例で確認すると、まず、10番と20番の選手の、規定9の合計点が、9点で同点です。

どちらかの選手が1位に成るので、決定する順位を『1位』として、1位に成っている単科順位を数えます。

その結果、10番が2個、20番が1個であるため、10番の1位が確定します。

また、1位の検討が、2組で在ることから、必然的に20番の2位が確定します。



背番号	種目				→ 合計	→ 検討順位	→ 10a 多数決	→ 10b 上位加算	決定順位
	Wz	Tg	Sf	Qs					
10	1	1	2	5	9	1位?	2		1
20	3	3	1	2	9		1		2
30	2	5	3	4	14	3			3
40	4	2	4	6	16	4			4
...									

【規定9】 合計点の少ない順に順位を付ける

→ 合計点が同じ組に対して、順位付けを実行

【規定10a】 決定する順位以上の数の多い方が、上位

...									
30	2	5	3	4	14	3			3
40	4	2	4	6	16	4			4
50	5	4	6	3	18	5位?	3		5
60	6	6	5	1	18		2		6

→ 決定順位は『5位』、5位以内を数える。

更に、50番と60番の選手の、規定9の合計点が、18点で同点です。

どちらかの選手が5位に成るので、決定する順位を『5位』として考えます。

上の例と異なるのは、決定すべき順位は5位ですが、5位のみを数えるのではなく、5位以内を獲得した単科の順位を数えます。

その結果、50番が3個、60番が2個であるため、50番の5位が確定し、60番が6位と成ります。

● 上位加算による順位決定 (規定10b)

【 規定9 & 10a で同点だったら 】

◆ 規定10aで差が付かない場合

規定9による合計点と同じなため、規定10aで比較検討した結果、順位個数が同数と成って、優劣が決まらない組があった場合には、それらの組に対して、次の規定10bを適用します。

◆ 決定する順位以内の、全単科順位を合計した合計値の多寡で決定 (少ない方が上位)

規定10bでは、『決定しようとする順位以内の、単科の種目数が同数で優劣が決定できない場合、それら順位以内の単科順位数値を全て合計し、この合計数の少ない組を上位とします』。

この場合も、重要なポイントは、『決定しようとする順位』で、その順位以上の単科順位を合計します。最終的に合計値の少ない選手が上位となり、検討している他の選手全てと未重複で有れば、決定しようとしている順位が、その選手に与えられます。

◆ 例題

→ 規定9での決定。

下記の例では、まず10番と40～60番の選手の、1位及び4位～6位が、規定9の合計点の定義から確定します。

→ 決定順位は『2位』、2位以内を数える。

次に20番と30番の選手の、規定9の合計点が、10点で同点です。

どちらかの選手が2位に成るので、決定する順位を『2位』として規定10aの多数決を比べます。

しかし多数決では、お互い2個ずつで規定10aでは順位確定が出来ません。

→ 順位10b適用、2位以内の順位を加算する。

そこで本規定10bを適用し、2位迄の単科順位の数値をそれぞれ合計し比較します。

その結果、20番は1位と2位の3点(1+2)、30番は2位が2つの4点(2+2)となり、

20番の2位が確定します。同点は2組なので、残りの30番の、3位も確定します。



背番号	種目				→ 合計	→ 検討順位	→ 10a 多数決	→ 10b 上位加算	決定順位
	Wz	Tg	Sf	Qs					
10	2	1	1	1	5	1			1
20	1	2	3	4	10	2位 ?	2	3	2
30	3	3	2	2	10	2	2	4	3
40	4	6	5	3	18	4			4
50	5	5	4	5	19	5			5
60	6	4	6	6	22	6			6

【規定9】 合計点の少ない順に順位を付ける

→ 合計点と同じ組に対して、順位付けを実行

【規定10a】 決定する順位以上の数の多い方? → 同点

【規定10b】 ↑で選ばれた順位値合計が少ない方が、上位

● 単科同点が含まれる場合の規定 10 適用

【 単科同点の場合の、順位及び順位点配分 】

◆ 順位及び合計点の求め方

- 単科の順位において、同点が含まれる場合の合計点については、次の様に扱います。
 単科で同点だった場合の順位は、例えば2組が1位で同点の場合、 $[1\frac{1}{2}]$ のように表示しています。
 合計点を計算するのに使用する数値は、その同点者達が専有するであろう順位範囲の平均値となります。
 つまり、1位で2組が同点ならば、1位と2位の数値を足して割った平均値となり、3位で3組が同点の場合には、3位～5位まで専有範囲の、順位数値の平均値と成ります。

◆ 単科同点が含まれる場合

- 下記の例では、単科の順位決定で同点にってしまった場合の規定 10 に於ける順位数値について説明しています。
 単科の結果が同点だった場合に順位は、2組が2位で同点の場合、 $(2\frac{1}{2})$ のように、また3組が3位で同点の場合には $(3\frac{1}{3})$ と表示します。
 この場合、規定 10 a に用いる判定順位は同点者の順位を全て合わせた平均値となり、**順位は整数に切り上げて考えます。**
 例えば、

	内容	→	合計用数値		順位
1)	2人が2位で同点	→	$(2+3) \div 2 = 2.5$		→ 3位 (切り上げ)
2)	3人が3位で同点	→	$(3+4+5) \div 3 = 4.0$		→ 4位

例 1) 同点種目が有る例です

No.	Wz	Tg	Sf	Qs	合計	合計点	2位で多数決	2位で上位加算	3位で多数決	4位で多数決	4位で上位加算	最終順位
10	6	$2 + 1/3$	1	2	12.0	1位						1位
20	4	1	$3 + 1/3$	5	14.0	?	1 ?	1.0 2位				2位
30	3	$2 + 1/3$	2	6	14.0	?	1 ?	2.0	3 3位			3位
40	$1 + 1/2$	$2 + 1/3$	6	$3 + 1/2$	14.0	?	1 ?	1.5	2	3 ?	8.0 4位	4位
50	$1 + 1/2$	5	$3 + 1/3$	$3 + 1/2$	14.0	?	1 ?	1.5	1	3 ?	9.0 5位	5位
60	5	6	$3 + 1/3$	1	16.0	6位						6位



適用規定 →	規定9	規定10a	規定10b	規定10a	規定10a	規定10b
適用内容 →	合計点	多数決	上位加算	多数決	多数決	上位加算
決める順位 →	全て	2位	2位	3位	4位	4位&5位

順位・合計点の考え方です。上記テーブルと比べてください。

No.	Wz	Tg	Sf	Qs	合計	1位	2位以内	3位以内	4位以内	5位以内	6位以内
10	6	3.0	1	2	12.0	1 (1.0)	2 (3.0)	3 (6.0)	3 (6.0)	3	4
20	4	1	4.0	5	14.0	1 (1.0)	1 (1.0)	1 (1.0)	3 (9.0)	4	4
30	3	3.0	2	6	14.0	-	1 (2.0)	3 (8.0)	3 (8.0)	3	4
40	1.5	3.0	6	3.5	14.0	-	1 (1.5)	2 (4.5)	3 (8.0)	3	4
50	1.5	5	4.0	3.5	14.0	-	1 (1.5)	1 (1.5)	3 (9.0)	4	4
60	5	6	4.0	1	16.0	1 (1.0)	1 (1.0)	1 (1.0)	2 (5.0)	3	4

例 2) 同じく同点例

No.	Wz	Tg	Sf	Qs	合計	合計点	1位で多数決	最終順位	1位	2位以内	3位以内	4位以内	5位以内	6位以内
10	1	$3 + 1/2$	6	$1 + 1/2$	12.0	?	1 1位	1位	1 (1.0)	2 (2.5)	2 (2.5)	3 (6.0)	3	4
20	2	$3 + 1/2$	5	$1 + 1/2$	12.0	?	0 2位	2位	-	2 (3.5)	3 (3.5)	3 (7.0)	4	4
30	5	1	3	4	13.0	3位		3位	1 (1.0)	1 (1.0)	2 (4.0)	3 (8.0)	4	4
40	3	6	2	3	14.0	4位		4位	-	1 (2.0)	3 (8.0)	3 (8.0)	3	4
50	4	5	1	6	16.0	5位		5位	1 (1.0)	1 (1.0)	1 (1.0)	2 (5.0)	3	4
60	6	2	4	5	17.0	6位		6位	-	1 (2.0)	1 (2.0)	2 (6.0)	3	4



適用規定 →	規定9	規定10a
適用内容 →	合計点	多数決
決める順位 →	全て	1位

↑ 多数決 (上位加算)

No.	Wz	Tg	Sf	Qs
10	1	3.5	6	1.5
20	2	3.5	5	1.5
30	5	1	3	4
40	3	6	2	3
50	4	5	1	6
60	6	2	4	5

● **再スケートによる順位決定** (規定11) 【規定9&10 a,b で同点の場合の最終手段】

◆ **規定10a及び規定10bで差が付かない場合は、次の再スケート(規定11)**

規定9による合計点と同じで、規定10a及び規定10bを適用して比較検討した結果でも、優劣が決まらない組が残った場合には、それらの組に対して、次の**規定11**を適用します。

◆ **規定10迄の適用過程**

→ **規定9での決定。**

下記の例では、まず30～60番の選手の、3位～6位が、規定9の合計点の定義から確定します。
次に、10番と20番の選手の合計値が10点で同じです。

→ **決定順位は『1位』、規定10のa, bを各々適用する。**

まず、1位以内の取得数を数える。1位以上の個数が各々2つ並び、同点です。 【規定10a】

更に、それらの合計も2点で一致しています。 【規定10b】

従って、次の【規定11】再スケート判定に移ります。

規定9 合計点	?	規定10a → ① 多数決	規定10b → ② 上位加算	規定11 → ③ 再スケート
------------	---	------------------	-------------------	-------------------

背番号	種目				→ 合計	→			決定順位
	Wz	Tg	Sf	Qs		→ 検討順位	→ 10a 多数決	→ 10b 上位加算	
10	1	1	3	5	10	1位 ?	2	2	???
20	4	4	1	1	10		2	2	???
30	2	5	2	2	11	3			3
40	3	6	4	3	16	4			4
50	5	2	6	4	17	5			5
60	6	3	5	6	20	6			6

【規定9】 合計点の少ない順に順位を付ける

→ 合計点と同じ組に対して、順位付けを実行

【規定10a】 決定する順位以上の数の多い方? → 同点

【規定10b】 ↑で選ばれた順位値合計が少ない方? → 同点

【規定11】 『全種目』を1つの種目と見なして、再検討

◆ **【規定11】再スケート (単科の再帰)**

規定11は、

『決定しようとする順位以内の種目数が同じで、さらにそれらの合計点で優劣が決まらない場合の組については、全ての単科で得られた順位を一つの種目と見なして統合します。』

この統合データに対して、改めて規定5～8を適用し、優劣を判定して、再上位の組を選出します』と謳われています。これは、単科判定への再帰と考えられるので、『再スケート』と呼ばれます。

尚、規定11は最後の判定基準と成っており、これを適用しても優劣が付かない場合は、総合に於いても『同点』としなければなりません。

◆ 単科全種目を1つの種目とみなして再度単科を実施し決定

【 単科の再帰 】

規定11【再スケート】は、実施された単科全ての、取得順位の並べ替えが基準で、以下の手順に従います。



背番号	種目				→ 合計	→ 検討順位	→ 10a 多数決	→ 10b 上位加算	決定順位
	Wz	Tg	Sf	Qs					
10	2	2	3	2	9	1			1
20	4	1	1	4	10	2位 ?	2	2	???
30	1	3	5	1	10	2	2		???
40	3	6	4	3	16	4			4
50	5	4	2	6	17	5			5
60	6	5	6	5	22	6			6

※ 規定10迄では決定出来ない → 【規定11】再スケへ

→ この例では、『2位』確定のため、【規定11】再スケートを実施

背番号	Wz						Tg						Sf						Qs					
	A	B	C	D	E	順	A	B	C	D	E	順	A	B	C	D	E	順	A	B	C	D	E	順
10	5	5	1	2	3	2	2	1	6	5	2	2	2	4	1	3	6	3	3	3	3	3	5	2
20	2	1	4	6	4	4	4	2	2	1	1	1	1	2	6	5	2	1	4	2	6	5	1	4
30	3	4	2	3	1	1	1	3	1	3	5	3	5	1	4	2	5	5	2	1	5	1	6	1
40	4	3	3	1	6	3	6	6	5	2	4	6	3	6	2	4	3	4	6	4	2	2	3	3
...																								

手順① 【転記】 数値の小さい順に全てを転記

背番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
20	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	4	4	4	4	5	5	6	6	6
30	1	1	1	1	1	1	2	2	2	3	3	3	3	4	4	5	5	5	5	6

手順② 【過半数算出】 決めるべき順位を基に、過半数位置に於ける順位点をチェック

◇ 過半数位置の計算

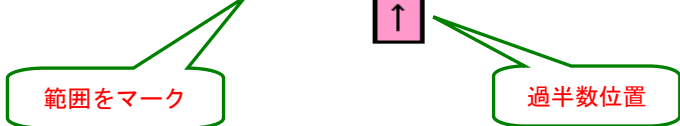
審判員の数も奇数でも、種目数が偶数で在った場合には、過半数の計算母数が偶数になってしまう場合が有り、単純計算では間違えてしまいます。 過半数位置の認識には、注意してください。

過半数位置 = [(審判員数 × 種目数) ÷ 2 + 1] の切捨て整数値

- 例1) (5人 × 4種目) ÷ 2 + 1 = 11.0 過半数位置は → 11
- 例2) (5人 × 3種目) ÷ 2 + 1 = 8.5 過半数位置は → 8

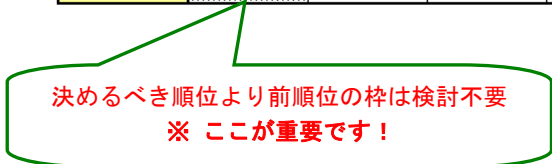
手順③ 【過半数マーク】 過半数位置を明記し、決めるべき順位迄の順位数値をマークします

背番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	↓	12	13	14	15	16	17	18	19	20
20	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2		4	4	4	4	5	5	6	6	6
30	1	1	1	1	1	1	2	2	2	3	↑	3	3	4	4	5	5	5	5	6



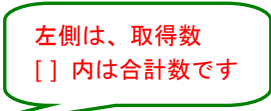
手順④ 【取得順位テーブル】 次に、下記のような、計算表（取得順位テーブル）を作成します。それぞれの枠内に、順位毎、該当範囲の順位の取得数及び合計数（上位加算）の計算表を作成します

決定順位		↓ 2位				
背番号	1	1&2	1-3	1-4	1-5	1-6
20	-					
30	-					



手順⑤ 【テーブル記載】 過半数位置以上となる順位点について、取得数及びその合計数で、上記表の中に、その内容を埋めます。例えば、本例においては、
 20番選手の2位までの取得数は、1 1 その合計は 1 7と成ります。
 30番選手の2位までは、過半数に達していないので、未計上（-）と成ります。
 過半数に達しているのは3位からなので、その数値は 1-3 の範囲枠に記入します。

決定順位		↓ 2位				
背番号	1	1&2	1-3	1-4	1-5	1-6
20	-	11 [17]	11 [17]	15 [33]	17 [43]	20 [61]
30	-	-	13 [24]	15 [32]	19 [52]	20 [58]



手順⑥ 【順位決定の検討】 上記計算表で、決めるべき順位の範囲から順に内容を比較します。ここで、単科でのスケータリングを思い出してください。

- 1) 先ず、取得数について比べ、数の多い方が優位です。【多数決】ですね。
- 2) 取得数が同じ場合は、その合計数の少ない方が優位になります。【上位加算】です。
- 3) 2) まだが同じ場合は、一つ下位の順位枠に移動して、数の多加、合計数の多加を順に比べます。【下位比較】と成ります。

※ 結果、本ケースでは、20番の選手が、多数決で優位と成り、20番の2位、30番の3位が決まります

決定順位		↓ 2位				
背番号	1	1&2	1-3	1-4	1-5	1-6
20	-	11 [17]	11 [17]	15 [33]	17 [43]	20 [61]
30	-	-	13 [24]	15 [32]	19 [52]	20 [58]

◆ 過半数位置と決めるべき順位の考察 【 ※ 単科の置換え法とは少し異なります！ 】

単科での置換え法では『過半数』のみが重要な基準ですが、再スケートに於いてはさらに、『決定しようとする順位』の概念を、合わせて考えなければなりません。すなわち、決定する順位が、並び替えた際の過半数位置の順位数値に達していれば問題は在りませんが、未到達の場合は、過半数位置での順位数値で検討しなければ成らないのです。特に、決定する順位が、過半数を獲得した順位数よりも大きい（下位）の場合には、注意が必要です。また同点者が多い場合は、決定する順位は、その都度、検討順位が変わることに成るので、これも注意をしなければなりません。

→ 再スケート時に於ける置換え法での判定は、過半数位置だけでは決定できません。

この考え方は、過半数位置数値と決定順位の関係を示す、次の例で明らかになります。

尚、以下に示す例は、3種目を5人審判で実施したケースなので、過半数位置は全て8番目です。

また、順位範囲枠の黄色表示 は、決めようとする順位であり、緑色の枠 は、総合的な過半数以上の支持を得た時点での得票数です。

1. 『1位』を決定したい。しかし、過半数位置には達して居無いケース (下位比較+過半数)

背番号	過										1	1&2	1-3	1-4	1-5	1-6					
40	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3	4	4	5	6	6	-	8				
70	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	4	5	5	6	6	-	-				

2. 『2位』を決定したい。過半数位置に、片方が達して居るケース (過半数)

背番号	過										1	1&2	1-3	1-4	1-5	1-6					
40	1	1	1	2	3	3	3	3	4	4	4	5	5	5	6		1&2	1-3	1-4	1-5	1-6
70	1	1	2	2	2	2	2	2	4	4	5	6	6	6	6		8				

3. 『2位』を決定したい。しかし過半数位置にはどちらも達して居無いケース (下位比較+多数決)

背番号	過										1	1&2	1-3	1-4	1-5	1-6						
40	1	1	2	2	2	2	2	3	3	3	3	5	5	6	6		1&2	1-3	1-4	1-5	1-6	
70	1	1	1	1	2	2	3	3	4	4	4	4	6	6	6		-	11				
																	-	8				

4. 『3位』を決定したい。過半数位置にはどちらも達して居る。 (上位加算)

背番号	過										1	1&2	1-3	1-4	1-5	1-6					
40	1	1	1	1	2	2	3	3	4	5	5	5	5	6	6			1-3	1-4	1-5	1-6
70	1	2	2	3	3	3	3	3	4	4	5	5	6	6	6			8 (14)			
																		8 (20)			

以上のように、『決定したい順位』が、過半数位置よりも上位側に有る場合（1組の達成でもOK）には、通常（単科の場合同様）の過半数取得位置での判定ロジックから適用できます。

これに対して、以下のように『決定したい順位』が、過半数位置よりも両方とも下位側に有る場合には、通常の過半数位置で判断することは出来ません。決定したい順位までの計算をすると、違った結果が導かれるためです。

5. 『4位』を決定したい。過半数位置での優位が、決定順位では違っている (多数決)

背番号	過										1	1&2	1-3	1-4	1-5	1-6					
40	1	1	2	2	2	3	3	4	4	4	4	5	5	6	6			-	1-4	1-5	1-6
70	1	2	2	3	3	3	3	3	4	5	5	5	6	6	6			8	9		

6. 『5位』を決定したい。 (多数決)

背番号	過										1	1&2	1-3	1-4	1-5	1-6					
40	1	1	2	2	3	4	4	4	4	5	5	5	5	6	6			-		1-5	1-6
70	1	1	1	1	3	3	3	3	4	5	5	5	6	6	6			8	9	12	

上記の過半数獲得位置での順位付けでは優位になっているのに、決定したい順位を検討に入れると、違った結果が導かれることがわかりでしょうか？

◆ 【 取得順位テーブル 】 使用による、再スケートに於ける順位決定方法

以上の理解を基に、様々なパターンの【 規定 1 1 】再スケート実施に於ける順位の求め方を説明します。

- 条件はいずれのケースも同様に、単科 3 種目実施での総合順位決定。
途中経過は省いていますが、規程 1 0 の範囲では同点と成り、規程 1 1 【 再スケート 】 摘要のケースです。
5 人審判で実施しているので、再スケート時の過半数は、『 8 』と成ります。

■ Case 1 : 1 位を決定

- 同点となった 2 組の審査結果を比べます。3 種目の取得順位を比べると規程 1 0 では同点です。

背番号	W			Σ		T					F									
	A	B	C			D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E			
11	2	1	4	7	?	3	1	3	2	3	4	1	1	2	2	3	2	6	1	6
12	4	2	1	7	?	6	4	1	5	2	2	5	4	3	1	4	1	1	2	2
13	3	3	2	8	3															
14	1	6	5	12	4															
15	5	5	3	13	5															
16	6	4	6	16	6															

3 種目それぞれの取得順位です。

- ① 【 再スケート 】 判定まで進んだ組全部の、単科で得られた順位点を、それぞれ小さい順に全て書き写します。

背番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
11	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	3	4	6	6
12	1	1	1	1	2	2	2	2	3	4	4	4	5	5	6

- ② 過半数位置を認識し、決定すべき順位から、取得数及びその合計数をテーブルに記入します。

背番号	1	2	3	4	5	6	7	過	9	10	11	12	13	14	15
11	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	3	4	6	6
12	1	1	1	1	2	2	2	2	3	4	4	4	5	5	6

これが、順位取得テーブルです

1	1&2	1-3	1-4	1-5	1-6
—	8(12)	12			
—	8(12)	9			

取得数が過半数を越えない場合は記入しませ

- ③ 決定したい順位で、過半数が得られないので、2 位以内の取得数を求めます。
同数なので、上位加算数値を比較します。これも同数なので、更に 3 位以内の取得数を比べます。

結果、差があり、取得数の多かった『 11 』番が優位となり、1 位及び 2 位が決定します。

■ Case 2 : 2位を決定 (過半数位置優先)

背番号	W	T	F	Σ	
21	1	2	3	6	1
22	2	5	1	8	?
23	5	1	2	8	?
24	3	3	4	10	4
25	4	4	5	13	5
26	6	6	6	18	6

A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
2	1	5	4	2	1	5	2	4	5	3	2	1	6	1
1	5	6	6	3	6	6	1	3	1	4	1	5	1	2

→ 決定順位範囲で、『22』が過半数取得、『23』は未達

背番号	1	2	3	4	5	6	7	過	9	10	11	12	13	14	15
22	1	1	1	1	2	2	2	2	3	4	4	5	5	5	6
23	1	1	1	1	1	2	3	3	4	5	5	6	6	6	6

1	1&2	1-3	1-4	1-5	1-6
8					
—					

検討外の範囲は不要です。記入しません。

※ 結果、決定順位による過半数取得で、『22』が優位！

■ Case 3 : 2位を決定 (決定順位での多数決)

背番号	W	T	F	Σ	
31	1	2	3	6	1
32	6	1	2	9	?
33	2	6	1	9	?
34	3	3	6	12	4
35	4	4	5	13	5
36	5	5	4	14	6

A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
6	2	1	6	6	2	1	2	2	3	3	1	2	1	6
4	1	6	2	2	6	3	1	5	6	1	2	4	2	2

→ 決定順位範囲で、『32』、『33』共に過半数取得

背番号	1	2	3	4	5	6	7	過	9	10	11	12	13	14	15
32	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3	6	6	6	6	6
33	1	1	1	2	2	2	2	2	3	4	4	5	6	6	6

1	1&2	1-3	1-4	1-5	1-6
9					
8					

※ 結果、決定順位による取得数の差【多数決】で、『32』が優位！

■ Case 4 : 2位を決定 (決定順位での上位加算)

背番号	W	T	F	Σ	
41	3	2	1	6	1
42	1	5	2	8	?
43	2	1	5	8	?
44	4	3	4	11	4
45	5	6	3	14	5
46	6	4	6	16	6

A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
1	5	1	4	2	5	5	5	1	1	2	2	5	4	2
6	1	2	2	3	2	1	6	2	2	6	3	1	6	5

→ 決定順位範囲で、『42』、『43』共に過半数取得、同数なので上位加算

背番号	1	2	3	4	5	6	7	過	9	10	11	12	13	14	15
42	1	1	1	1	2	2	2	2	4	4	5	5	5	5	5
43	1	1	1	2	2	2	2	2	3	3	5	6	6	6	6

	1	1&2	1-3	1-4	1-5	1-6
		8(12)				
		8(13)				

※ 結果、決定順位による上位加算で、『42』が優位！

■ Case 5 : 4位を決定 (下位比較での多数決)

背番号	W	T	F	Σ	
31	4	1	2	7.5	1
32	3	2	3	8	2
33	2	3	5	10	3
34	1	6	4	11	?
35	6	4	1	11	?
36	4	5	6	15.5	6

A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
5	1	2	3	1	4	5	6	2	5	4	5	5	2	2
6	6	5	6	2	2	4	5	1	4	2	3	2	1	5

→ 決定順位範囲で、『34』、『35』共に過半数取得、取得数・上位加算共同数なので下位比較

背番号	1	2	3	4	5	6	7	過	9	10	11	12	13	14	15
34	1	1	2	2	2	2	3	4	4	5	5	5	5	5	6
35	1	1	2	2	2	2	3	4	4	5	5	5	6	6	6

	1	1&2	1-3	1-4	1-5	1-6
				9(21)	14	
				9(21)	12	

※ 結果、下位比較実施での取得数の差【多数決】で、『34』が優位！

→ 以下のケースでは、同点となる組の種目別順位の取得パターンは違いますが、規程10の摘要は同点です。

■ Case 6 : **4位を決定** (**決定順位での上位加算**)

背番号	W	T	F	Σ	
51	4	1	1	6	1
52	1	2	4	7	2
53	3	5	2	10	3
54	2	4	5	11	?
55	5	3	3	11	?
56	6	6	6	18	6

A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
6	3	3	1	1	3	3	4	2	6	6	4	6	4	3
5	6	2	5	3	5	1	3	6	2	2	5	4	1	5

→ 決定順位範囲で、『54』は3位で過半数獲得しているが、4位決定のため繰り下げ、『55』も過半数取得

背番号	1	2	3	4	5	6	7	過	9	10	11	12	13	14	15
54	1	1	2	3	3	3	3	3	4	4	4	6	6	6	6
55	1	1	2	2	2	3	3	4	5	5	5	5	5	6	6

1	1&2	1-3	1-4	1-5	1-6
		0	11		
			8		

※ 結果、決定順位による多数決で、『54』が優位！ (※ 過半数獲得位置でも優位では有るが、決定順位が重要)

■ Case 7 : **4位を決定** (**下位比較での多数決**)

背番号	W	T	F	Σ	
61	1	1	2	4	1
62	4	4	1	9	2
63	3	2	5	10	3
64	2	5	4	11	?
65	5	3	3	11	?
66	6	6	6	18	6

A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
3	4	4	2	1	5	1	5	4	3	4	4	2	6	4
4	2	3	5	6	3	3	4	6	1	3	5	1	3	3

→ 決定順位範囲で、『65』は3位で過半数獲得しているが、4位決定のため繰り下げ、『65』も過半数取得

背番号	1	2	3	4	5	6	7	過	9	10	11	12	13	14	15
64	1	1	2	2	3	3	4	4	4	4	4	4	5	5	6
65	1	1	2	3	3	3	3	3	3	4	4	5	5	6	6

1	1&2	1-3	1-4	1-5	1-6
		9	12		
			11		

※ 結果、決定順位による多数決で、『64』が優位！ (※ 過半数獲得位置が上位でも、決定順位が重要)

◆ 規定9で、同点者が多数（3組以上）の場合の順位決定

【 焦らずに、ひとつずつ 】

前述のケースのように、規定9の適用後、同点者が2組の場合には、規定10～11を順に適用すれば比較的楽に、結果を求めることが出来ました。即ち、同点が2組の場合には、規定10～11を順に適用して、片方の優位（上位）が決定すると、必然的に2組共の順位が決定するからです。

しかし、現実としては、3組以上となるケースも、多々存在します。以下の『？』の決定方法を説明します。

■ Case 1 : 同点が3組

背番号	W	T	F	Q	Σ	
11	3	1	3	2	9	1
12	1	2	6	5	14	2
13	6	4	2	3	15	?
14	2	3	4	6	15	?
15	4	5	5	1	15	?
16	5	6	1	4	16	6

■ Case 2 : 同点3組が、ダブル

背番号	S	C	R	P	Σ	
21	5	5	1	1	12	?
22	2	6	2	2	12	?
23	1	3	3	5	12	?
24	6	1	5	4	16	?
25	3	4	6	3	16	?
26	4	2	4	6	16	?

■ Case 3 : 同点が4組

背番号	W	T	F	Q	Σ	
31	2	1	6	1	10	1
32	1	6	5	2	14	?
33	6	2	3	3	14	?
34	3	3	4	4	14	?
35	4	4	1	5	14	?
36	5	5	2	6	18	6

■ Case 4 : 同点4組の他に、2組同点

背番号	S	C	R	P	Σ	
41	6	5	1	1	13	?
42	1	6	4	2	13	?
43	2	2	6	3	13	?
44	3	1	5	4	13	?
45	4	4	3	5	16	?
46	5	3	2	6	16	?

■ Case 5 : 同点が5組

背番号	W	T	F	Q	Σ	
51	3	4	1	1	9	1
52	2	5	2	6	15	?
53	1	6	5	3	15	?
54	6	3	4	2	15	?
55	4	1	6	4	15	?
56	5	2	3	5	15	?

■ Case 6 : 同点が6組

背番号	W	T	F	Q	Σ	
61	1	6	1	6	14	?
62	2	5	2	5	14	?
63	4	2	6	2	14	?
64	6	1	3	4	14	?
65	5	4	4	1	14	?
66	3	3	5	3	14	?

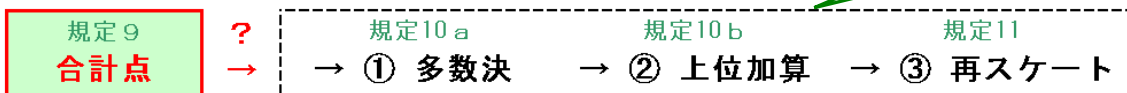
● 【 合計点同点カプルの順位決定 】

同点でない組の順位は、合計点の多加で必然的に決まります。

しかし、3組以上同点となった場合には、決めるべき順位に対して、規程10-11を適宜、適用する判定を順に行い、最終的な順位を決定します。

また更に、少々厄介な約束事が増えるので、注意が必要です。

この範囲で判定します。

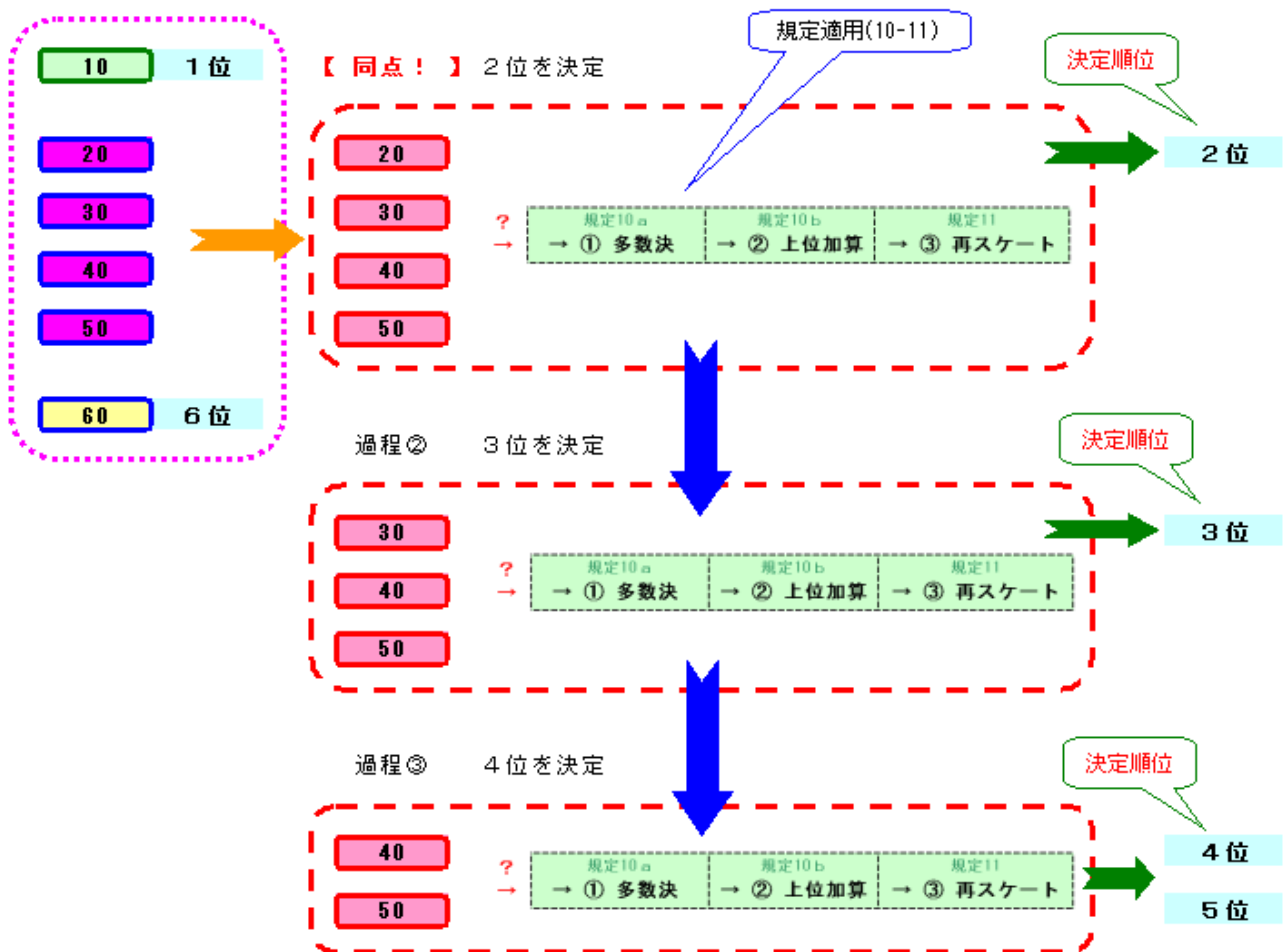


● 【 順位決定の流れ 】 規定10-11の適用に於いて…

例えば、下記例のように規定9での合計点が同点となる組が複数有った場合で、この合計点が2位相当とします。

- ① 先ず2位を、**決定する順位**として、規定10-11を順次適用させて、2位の組を選びます。
順次の意味は、規程 10a → 10b → 11 と順に摘要し、差が付いた規程までで、上位者を確定することです。
- ② 次に、規定9での同点組の中から2位に該当した組を除いた複数の組に対して、次の3位決定します。
この場合、3位を**決定する順位**として、残った組から①と同様に、規定10-11を適用して3位を決定します。
- ③ 続いて、2位・3位に該当する組を除いた、残りの組が複数有る場合、②と同様に、残りの組に対して、4位を決定します。
- ④ 残りの組が1組に成るまで、上記操作を繰り返していきます。

■ 規定9同点者 ■ → 規定10及び11を使用して、順位を確定！



このように、『 決定する順位 』を基に、順位決定のプロセスを進めます。

◆ 規定9 適応後、同点者が3組以上に成った場合の付加条件

規程9の合計値判定で、同点者が3組以上に成った場合には、次の条件を付加して順位決定を行います。

1. 【 規定10の再帰 】

- 規定9同点者の中から規定10-11を用いて、最上位の組を、決定する順位として選出した後は、残りの規定9同点者の中から、次の決定順位（決定順位+1）を元に、規定10より再び、ルールを適用して上位者を求めます。ひとつ順位が確定した後は、新たな順位に対する適用条件を元に、再び順位を決めることに成るのです。この処理は、同点者が無くなるまで、再帰的に繰り返されます。

2. 【 規定11の適用によるグループ分け 】

- 規定10の適用で、種目取得順位が同条件で、差が付かない組が複数有る場合には、それらの組のみを、次の規定11【再スケート】の判定に掛けます。この場合、規定11に進んだ組は、規定10適用で保留と成っている組より優位で有るとします。従って、規定11に進んだ組と、それ以外の組とを二つのグループに分けて順位付けを実行する事が必須となり、先ず規定11に進んだ組の順位を優先して決定します。

3. 【 再スケATING時での、規定10の再帰 】

- 上記2. の場合で、規定11適用に成るのが3組以上の場合は、更に注意が必要です。それは3組以上の場合、決めるべき順位の判定条件に因っては異なる結果が導き出されるため、一つずつ、順位を決定する必要が有るのです。従って、3組の中から、再スケートで1組を抽出した後は、残りの組から、次の順位を決定するべく、規定10に戻って、順位決定を行わなければ成りません。

- ▼ 次頁からは、これら上記付加条件の詳細について説明します。

◆ 【 規定10の再帰 】 → 【 規定9で同点の組に対する、総合順位決定は規定10が基本 】

● 合計点で同点者が複数存在する場合 （ 規定10の再帰 ）

下記例の様に、規定9（合計点）で3組以上が同点に成った場合に、規定10（a/b）を適用して順位決定をする時、先ず最上位の1組を決定します。その後、規定9での合計点で未だ同点の組が残っている場合には、決定した順位をひとつ繰り下げて、残りの同点組について検討しなければなりません。

この際には、残りの組全員を、**規定10aから再び検討**とします。これは有る意味、【 規定10の再帰 】と呼べます。この順位決定で、規定10aのみで順位が決定出来た場合は、すんなり次の順位検討へ移行出来ますが、規定10b迄適用した場合の、規定10の再帰手順は、**少し複雑です**。

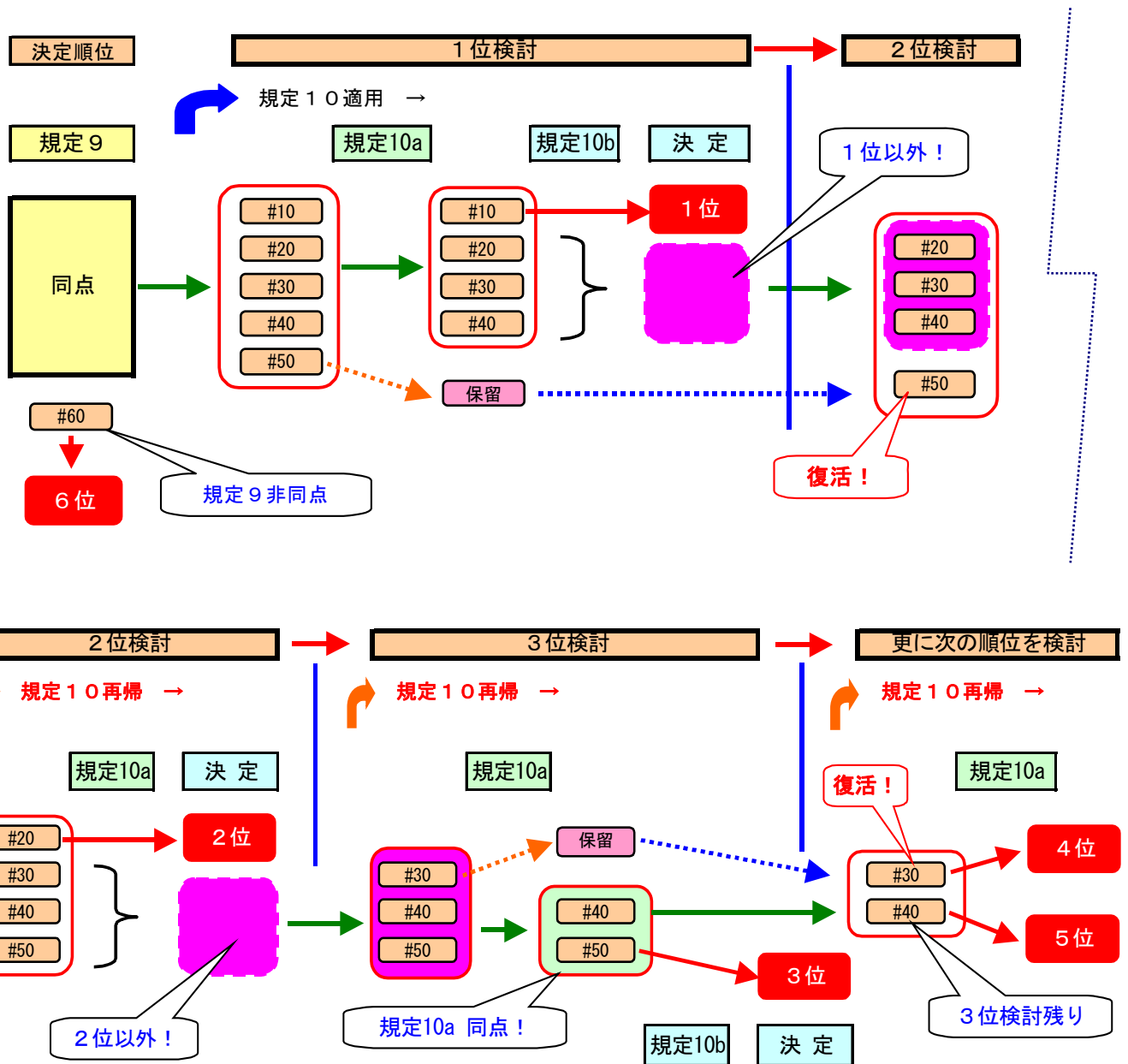
下記の規定9同点者の遷移図を参照すれば理解し易いと思いますが、同点者に対しては、一つ前に検討した規定10bでの結果をそのまま適用するのでは無く、残っている全て同点の組に対して、規定10a（多数決）から再び検討し、順位の決定する事にします。

当然、この再帰状態に於いて規定10aで同点と成ったら、次の規定10bを適用します。

一般的には、最初に検討した順位（例えば下記の1位）で、同点者全員の順位が判定出来そうに思えますが、決めるべき順位が変わると、一時保留にしていた組の結果を含めて再検討する必要があるので、得られる結果も変わります。

その不思議な検討の流れを、下記例を良く見て納得して下さい。

なおこの際、**必ず決定すべき順位を繰り下げて、ひとつずつ順に検討していることも、確認してください。**



◆ 規定10aのみの繰り返しによる、繰り下げ決定順位についての詳細を説明しています。

No.	Wz	Tg	Vw	Sf	Qs	合計	取得順位数		2位で多数決		3位で多数決		4位で多数決		最終順位
							合計点	順位	3	2位	2	4位??	3	5位	
10	5	2	2	1	1	11	1位								1位
20	2	5	5	2	2	16	?	3	2位						2位
30	4	1	1	5	5	16	?	2	3位??	2	4位??	3	5位		5位
40	1	4	4	4	3	16	?	1	4位??	2	5位??	5	4位		4位
50	3	3	3	3	4	16	?	0	5位??	4	3位				3位
60	6	6	6	6	6	30	6位								6位

適用規定	→	規定9	規定10a	規定10a	規定10a
適用内容	→	合計点	多数決	多数決	多数決
決める順位	→	全て	2位	3位	4位

→ 2位より順に繰り下げ (→ 3位 → 4位)

※ 検討する順位により、決まる順位が入れ替わっています ↑
(例 30番 3位→4位→5位)

【 規程10再帰 】
規程10の繰返し

→ 規定9での確定

上記例では、まず10番の選手の1位、及び60番の選手の6位が、規定9の合計点の定義から確定します。

→ 2位で多数決 (4組で検討)

次に20番から50番の選手が16点で同点です。どれかの選手が2位に成るので、決定する順位を『2位』として規定10aの多数決を比べます。
その結果、20番は2位迄を3個、30番は2位迄を2個、以下順に1個、0個となり、20番の2位が確定します。

→ 3位で多数決 (3組で検討)

次は、**確定した20番を除き**、30番から50番の規定9で同点の選手について、どちらかの選手が3位に成るので、決定する順位を『3位』として規定10aの多数決を比べます。
その結果、30番と40番は各々3位迄を2つ持って居ますが、50番は3位迄を4個持っているため、50番の3位が確定します。

→ 4位で多数決 (2組で検討)

最後に、残った30番と40番について、どちらかの選手が4位に成るので、決定する順位を『4位』として規定10aの多数決を比べます。
その結果、4位迄を4個持っている40番の4位が確定します。

→ 決定順位の繰り下げ

この様に、規定9に於いて同点に成った後は、次の規定を適用しつつ決定する順位を順に繰り下げて、最終的な順位を決定して行きます。

※ 上記のように、**規定10の検討範囲内**では、“**保留**”された組も、次の順位検討では、“**復活**”します。
次例では、10b迄の範囲でも同様であることを、説明しています。

◆ 規定10a/bの繰り返しによる、繰り下げ決定順位についての詳細を説明しています。

前述の規定10aと同様に、この規定10bによって順位を決定した後もまだ合計点が同点の組が残っている場合には、決定すべき順位を繰り下げて、再び規定10aに戻って順位決定を継続実施します。

例) 決定順位の繰り下げ

- ※ → 2位より順に繰り下げ (→ 3位 → 4位)
- ※ ↓ 内容の判定によって、順次10a / 10bを繰り返しで判定

No.	Wz	Tg	Sf	Qs	合計	合計点	2位で 多数決	3位で 多数決	3位で 上位加算	4位で 多数決	4位で 上位加算	最終 順位
10	4	1	1	1	7	1位						1位
20	5	2	2	6	15	?	2 2位					2位
30	1	3	6	5	15	?	1 ?	2 ?	4 3位			3位
40	2	6	3	4	15	?	1 ?	2 ?	5 ?	3 ?	9 4位	4位
50	3	5	4	3	15	?	0 ?	2 ?	6 ?	3 ?	10 5位	5位
60	6	4	5	2	17	6位						6位

適用規定 →	規定9	規定10a	規定10a	規定10b	規定10a	規定10b
適用内容 →	合計点	多数決	多数決	上位加算	多数決	上位加算
決める順位 →	全て	2位	3位	3位	4位	4位

↑ 広い意味での規定10

→ 規定9での確定

上記例では、まず10番の選手の1位及び60番の選手の6位が、規定9の合計点の定義から確定します。

→ 2位で多数決(10a)

次に20番から50番の選手が15点で同点です。どちらかの選手が2位に成るので、決定する順位を『2位』として規定10aの多数決を比べます。

その結果、30番以降は2位迄を各々1個しか持って居ませんが、20番は2位迄が2個有るので、20番の2位が確定します。

→ 3位で多数決(10a)

次は、確定した20番を除く、30番から50番の規定9で同点の選手について、どちらかの選手が3位に成るので、決定する順位を『3位』として規定10aの多数決を比べます。

その結果、30番から50番は各々3位迄を2つ持って居り同点と成っています。従って、この3組の選手について、規定10bを適用します。

→ 3位で上位加算(10b)

その結果、40番の上位加算点が5、50番の上位加算点は6、これに対し、30番は4であるので、30番の3位が確定します。

→ 4位で多数決(10a)

次に残った40番及び50番について、どちらかの選手が4位に成るので、決定する順位を『4位』として規定10aの多数決を比べます。

その結果、40番と50番は各々4位迄を3つ持って居り同点の為、この2組の選手について、規定10bを適用します。

→ 4位で上位加算(10b)

その結果、40番の上位加算点は9、50番は10と成るため、40番の上位が決まります。このケースでの計算結果からは、4位・5位が決定します。

→ 決定順位の繰り下げ

この様に、規定9に於いて同点に成った後、規定10aでも同点に成る場合は、順に次の規定10bを適用しつつ決定する順位を順に繰り下げて、最終的な順位を決定して行きます。

◆ 規定 11 (再スケート) を適用した場合の、グループ分け

3組以上が規定9で同点と成った場合で、最終的に規定11【再スケート】を適用した場合の順位決め方には注意が必要です。何故なら、

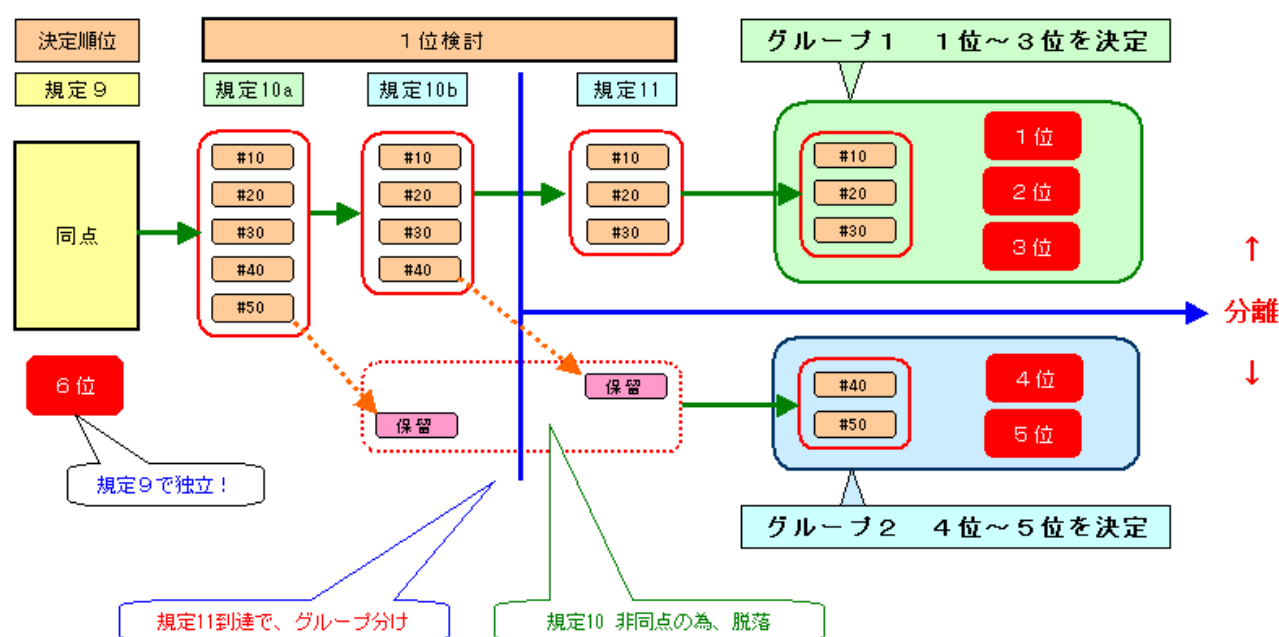
規定11を適用した場合は、該当する組を、グループに分けて考えると言うルールが付加されるからです。

この特殊な要件を言い換えると、規定11を適用するまで同点であった組に対しての順位判定に於いては『規定11に 進んだ組のみを先に順位決定する。』と言う内容に成ります。

即ち、規定9～10迄の同点者に対して、規定11を適用して、ひと組、最上位の順位決定した後は、**規定11に至った選手達と、そうでない選手達を、2つのグループに分けて順位決定を考える事に成るからです。**(規定11迄の適用が、全部の組の場合は、当然グループ分け不要)

このように、規定11適用後に残っている組に対しては、前述した【規定10の再帰】の適用とは少し違った考え方を適用しなければ成らないのです。

2組の場合は、そのまま優位な組を決定して、前出の規定10と同様に、他方を一つ下の順位に決定すれば良いのですが、3組以上と成った場合は、少し考え方が複雑に成ります。この複雑な追加順位決定ロジックに拠って、順位決定が非常に間違え易く成ってしまいます。



上記の例で明らかなように、規定11まで到達した組とそうでない組を順位グループ的に分離します。

まず、上位側(規定11到達組)の中から1組の上位者が決定した後、残りの規定11到達組だけで、改めて規定10の再帰を利用し、先にグループ別れた組全部に、上位に当たる順位をつけてしまいます。

規定11に到達せず、グループ別れをした、その他の組についてはその後、改めて順位付けを実施します。

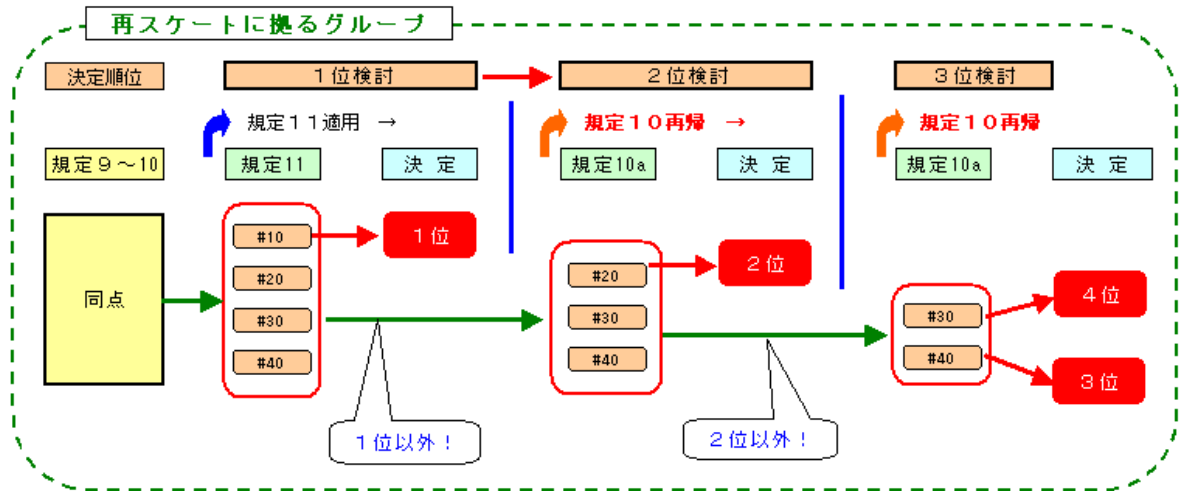
従って、グループ分け直後には、各々のグループに属する選手の獲得できる順位範囲は、確定することに成ります。

これは、上記例であきらかです。

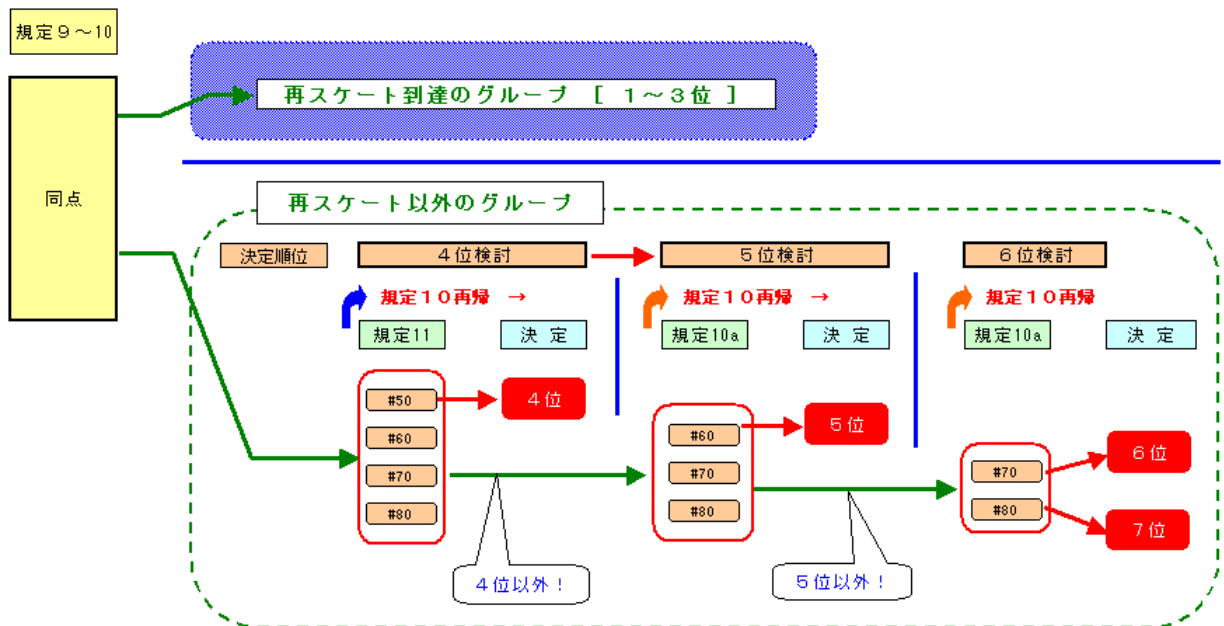
※ 上記のように、規定11を適用した場合に生じるグループ分け概念下では、**規定10の検討範囲内**では、“復活”した組も、規定11到達後は、“脱落”と成る場合が有ります。要注意点です!

※ 【再スケーティング時での、規定10の再帰】

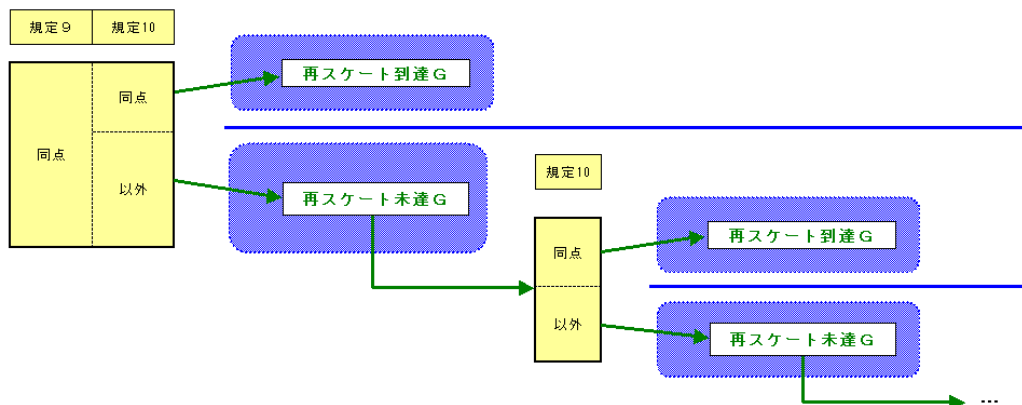
再スケートで一旦順位確定をした後は、以下の観点について、十分に気を付けることが肝要です。それは、一つ順位が決まったのであるから、次に決めるべき順位は異なっており、同時に検討するグループに残って居る全ての組に対して、規定10から検討を始めなければ成りません。一意的に、最初に実施した再スケートで求まる順位とは異なる結果が導き出されるので、要注意と成ります。



※ これらの説明から統一的に推察すると、総合の順位決定は、規定9で同点になった場合、決めるべき順位を逐次変えながら規定10を適用して順次、順位を決定します。尚、規定10でも同点の場合は、別グループに分けて再スケートを実施、残りの組の順位も、規定10を適用していくという流れになります。



※ 尚、再スケートに進むケースが複数有る場合は、更にグループ分けが増えることになります。



◆ 再スケート適用範囲確認

【 やや複雑な再スケートを、実例で理解します 】

→ 規定10は決定する順位を変え、繰り返して判定しますが、規定11の再スケート処理を実施した場合には、再スケートした選手のみで再度規定10a（多数決）に戻って順位を決定します。
 下記の例では、20/30/40番の選手で再スケート処理をし、20番の2位を決定しています。
 その後の順位決定では30/40番の選手で規定10aを適用しています。

正解) 再スケート後の規定10a適用

No.	Wz	Tg	Sf	Qs	合計	合計点	2位で多数決	2位で上位加算	規定10で同点→再スケートへ、従って5位が決定	再スケート結果	3位で多数決	最終順位
10	5	1	2	2	10	1位						1位
20	4	3	1	6	14	?	1 ?	1 ?	→ 再スケート	2位		2位
30	3	5	5	1	14	?	1 ?	1 ?	→ 再スケート	?	2 3位	3位
40	1	4	4	5	14	?	1 ?	1 ?	→ 再スケート	?	1 4位	4位
50	2	6	3	3	14	?	1 ?	2 保留	5位決定			5位
60	6	2	6	4	16	6位						6位

適用規定 →	規定9	規定10a	規定10b	規定11	規定11	規定10a
適用内容 →	合計点	多数決	上位加算	再スケ	再スケ	多数決
決める順位 →	全て	2位	2位	2位+5位		3位&4位

>>> 再スケート

↓ 過半数位置

No.	→ 4種目全ての結果を少ない順に並び替え																		
20	1	1	1	1	2	2	3	3	3	3	3	3	4	4	5	6	6	6	6
30	1	1	1	1	1	2	2	3	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5
40	1	1	1	2	2	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	5	5	5	6

※ ↑ 2位を決定しようとするが過半数無し
 → 過半数位置の数値で決定 ↑ 20番が優位

間違い) 適用範囲を誤った例 (グループ分け未実施)

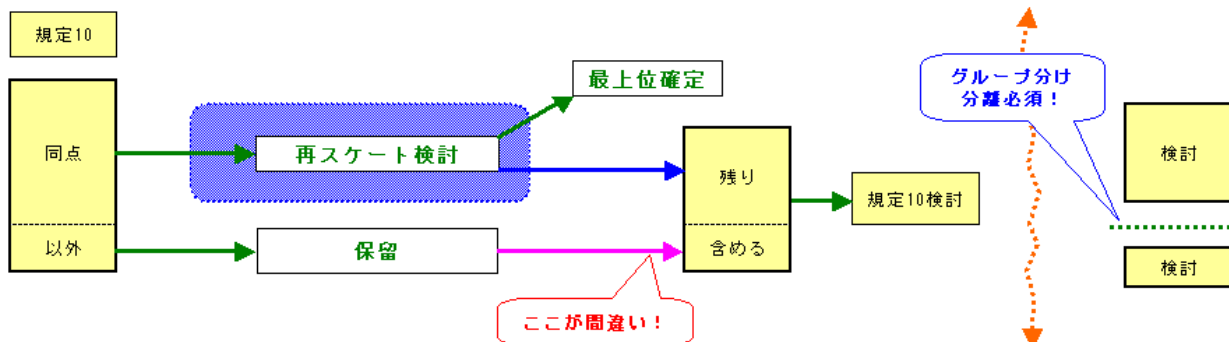
→ この例では、上記の判定の3位決定の時に於いて、2位上位加算時に保留していた50番を含めて判定しています。
再スケートした以外の選手を含めて検討した場合に犯しやすいミスです。
再スケートした場合には、再スケートした組のみで順位決定しなければなりません。

No.	Wz	Tg	Sf	Qs	合計	合計点	2位で多数決	2位で上位加算	規定10同点再スケート	再スケート結果	3位で多数決	4位で多数決	最終順位
10	5	1	2	2	10	1位							1位
20	4	3	1	6	14	?	1 ?	1 ?	→ 再スケート	2位			2位
30	3	5	5	1	14	?	1 ?	1 ?	→ 再スケート	?	2 ?	2 5位	5位
40	1	4	4	5	14	?	1 ?	1 ?	→ 再スケート	?	1 ?	3 4位	4位
50	2	6	3	3	14	?	1 ?	2 保留	- 保留	?	3 3位		3位
60	6	2	6	4	16	6位							6位

適用規定 →	規定9	規定10a	規定10b	規定11	規定11	規定10a	規定10a
適用内容 →	合計点	多数決	上位加算	再スケ	再スケ	多数決	多数決
決める順位 →	全て	2位	2位	2位		3位	4位&5位

[誤り]

[正解]



■ 【 取得順位テーブル 】 使用による、3組以上での再スケートに於ける順位決定方法

前述での、取得順位テーブルを使用した、再スケとなった組が3組となった場合について、説明します。

■ 2～4位を決定 (決定が明白な場合)

背番号	W	T	F	Σ	
71	1	1	1	3	1
72	3	2	6	11	?
73	6	3	2	11	?
74	2	6	3	11	?
75	4	4	5	13	5
76	5	5	4	14	6

A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
2	4	6	1	4	1	5	2	2	2	1	6	5	6	2
6	2	2	5	6	6	3	3	3	3	6	1	2	3	4
3	6	3	2	5	5	6	4	5	6	3	4	4	1	3

→ 先ず、2位について検討する。 決定順位範囲で、『72』は2位で過半数獲得しているが、『73』『74』は未達

背番号	1	2	3	4	5	6	7	過	9	10	11	12	13	14	15
72	1	1	1	2	2	2	2	2	4	4	5	5	6	6	6
73	1	2	2	2	3	3	3	3	3	4	5	6	6	6	6
74	1	2	3	3	3	3	4	4	4	5	5	5	6	6	6

1	1&2	1-3	1-4	1-5	1-6
	8				
	—				
	—				

※ 結果、決定順位による多数決で、『72』が優位となり、2位を確定！

→ 次に、3位について検討します。

この際には、規程10に立ち戻っての判定になります。

しかし、本ケースでは同点3組の取得順位は全て同じであるため、残った2組での規程10摘要でも当然、同点と成ってしまいます。 従って、再び2組による再スケートを実施することに成ります。

但し、この場合の決定すべき順位は、もうお解りだと思いますが、『3位』です。

→ 決定順位範囲で、『73』は3位で過半数獲得しているが、『74』は未達

背番号	1	2	3	4	5	6	7	過	9	10	11	12	13	14	15
73	1	2	2	2	3	3	3	3	3	4	5	6	6	6	6
74	1	2	3	3	3	3	4	4	4	5	5	5	6	6	6

1	1&2	1-3	1-4	1-5	1-6
		9			
		—			

※ 結果、決定順位による多数決で、『73』が優位となり、3位を確定！

■ 2～4位を決定 (少し複雑な例)

背番号	W	T	F	Σ	
81	4	1	1	6	1
82	2	4	4	10	?
83	3	2	5	10	?
84	5	3	2	10	?
85	1	6	6	13	5
86	6	5	3	14	6

	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
2	1	4	1	5	5	4	1	3	3	6	2	6	1	3	
5	4	3	2	3	3	3	4	2	2	3	4	4	2	6	
3	6	6	3	4	1	2	3	5	5	2	6	2	5	2	

→ 先ず、2位について検討する。 決定順位範囲では全て未達なため、繰り下げて判定。
『82』『83』が取得数で優位、更に上位加算で比較する。

背番号	1	2	3	4	5	6	7	過	9	10	11	12	13	14	15
82	1	1	1	1	2	2	3	3	3	4	4	5	5	6	6
83	2	2	2	2	3	3	3	3	3	4	4	4	4	5	6
84	1	2	2	2	2	3	3	3	4	5	5	5	6	6	6

1	1&2	1-3	1-4	1-5	1-6
—	—	9(17)			
—	—	9(23)			
—	—	8			

取得数が過半数を越えない場合は記入しません。

※ 結果、繰り下げ順位による上位加算で、『82』が優位となり、2位を確定!

◆ ここまでで、3組の内の、1組の順位が決まりました。
更に、上記計算テーブルによると、次の順位は『83』で決定出来そうです。しかし、早合点は禁物です。

→ 次に、3位について検討します。
本ケースも、前ケース同様、残された組での規程10では同点に成るので、再び2組による再スケートを実施することに成ります。 従って…

→ 決定順位範囲で、『83』『84』共3位で過半数獲得しているが、『83』の取得数が多い

背番号	1	2	3	4	5	6	7	過	9	10	11	12	13	14	15
83	2	2	2	2	3	3	3	3	3	4	4	4	4	5	6
84	1	2	2	2	2	3	3	3	4	5	5	5	6	6	6

1	1&2	1-3	1-4	1-5	1-6
		9			
		8			

※ 結果、決定順位による多数決で、『83』が優位となり、3位を確定!

■ 3～5位を決定 (間違いやすい例)

背番号	W	T	F	Σ	
91	1	5	1	7	1
92	4	1	4	9	2
93	3	6	2	11	?
94	2	3	6	11	?
95	6	2	3	11	?
96	5	4	5	14	6

A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
1	4	4	2	4	5	1	4	2	5	3	2	3	1	6
2	3	6	3	3	3	5	3	5	1	6	3	5	4	4
6	1	5	5	1	4	2	2	3	6	2	5	6	3	1

→ 先ず、3位について検討する。 全て決定順位範囲で過半数があり、同点となる。
『93』『95』については上位加算も同じなため、順位を繰り下げて判定。

背番号	1	2	3	4	5	6	7	過	9	10	11	12	13	14	15
93	1	1	1	2	2	2	3	3	4	4	4	4	5	5	6
94	1	2	3	3	3	3	3	3	4	4	5	5	5	6	6
95	1	1	1	2	2	2	3	3	4	5	5	5	6	6	6

1	1&2	1-3	1-4	1-5	1-6
		8(15)	10		
		8(21)			
		8(15)	9		

※ 結果、繰り下げ順位による多数決で、『93』が優位となり、3位を確定!

→ 次に、4位について検討します。

このケースの場合も、最終的には再度、2組による再スケートを実施します。 従って…

→ 決定順位範囲で、『94』『95』共4位では獲得しており、『94』の取得数が多い

背番号	1	2	3	4	5	6	7	過	9	10	11	12	13	14	15
94	1	2	3	3	3	3	3	3	4	4	5	5	5	6	6
95	1	1	1	2	2	2	3	3	4	5	5	5	6	6	6

1	1&2	1-3	1-4	1-5	1-6
			10		
			9		

※ 結果、決定順位による多数決で、『94』が優位となり、4位を確定!

【注意】 上記3例のように1組の順位決定の後、次の順位決定を、直ぐに再スケに頼ってはいけません!
1組の順位が決定した後、次の検討には、【規定10】が考慮されなければ成りません。
例えば、本ケースでの3位決定時点の上記計算テーブルによると、次の順位は『95』で決定出来そうです。
しかし、次の正しい順位決定では、『94』が上位となりました。早合点は禁物なのです。

この様に、3組以上の同点の正しい検討手順は、複雑です。次項以降で、その色々なケースを紹介します。

◆ 規定9 同点後の検討、決定変遷の具体例 (規定10・11 検討)

→ 下記の例題では、規定9 時点で同点となった場合の、総合の順位決定に於ける判定内容の変遷が明示されています。
 ルール適用の順序を、決定する順位と共に確認してください。
 尚、この際の再スケの詳細については、検討過程の説明上で不要の場合、一部説明を省いています。

変遷例1) ※3組同点 → 全て多数決で決定 / ※5組同点 → 全て多数決で決定

No.	Wz	Tg	Vw	Sf	Qs	合計	合計点	1位で 多数決	2位で 多数決	最終順位
10	1	6	1	1	3	12	?	3 1位		1位
20	2	1	2	6	1	12	?	2 保留	4 2位	2位
30	3	2	3	2	2	12	?	0 保留	3 3位	3位
40	4	3	6	3	5	21	4位			4位
50	5	4	4	5	4	22	5位			5位
60	6	5	5	4	6	26	6位			6位

適用規定 → 規定9 / 規定10a / 規定10a
 適用内容 → 合計点 / 多数決 / 多数決
 決める順位 → 全て / 1位 / 2位

スケージングの計算は、合計点
 が同じだった場合、その人達全
 の中から1位を決め、次いで順に、
 残りの人達から2位、同様に3位
 …と決めていきます。

No.	Wz	Tg	Vw	Sf	Qs	合計	合計点	1位で 多数決	2位で 多数決	3位で 多数決	4位で 多数決	最終順位
10	3	6	6	1	1	17	?	2 1位				1位
20	2	2	1	6	6	17	?	1 保留	3 2位			2位
30	5	3	4	3	2	17	?	- 保留	1 保留	3 3位		3位
40	4	4	2	4	3	17	?	- 保留	1 保留	2 保留	5 4位	4位
50	1	5	5	2	4	17	?	1 保留	1 保留	2 保留	4 5位	5位
60	6	1	3	5	5	20	6位					6位

適用規定 → 規定9 / 規定10a / 規定10a / 規定10a / 規定10a
 適用内容 → 合計点 / 多数決 / 多数決 / 多数決 / 多数決
 決める順位 → 全て / 1位 / 2位 / 3位 / 4位

重要なのは、決めるべき順位です。

変遷例2) ※3組同点 → 多数決・上位加算後、再度多数決 / 5組同点 → 多数決時々上位加算

No.	Wz	Tg	Vw	Sf	Qs	合計	合計点	2位で 多数決	上位加算	3位で 多数決	最終順位
10	1	1	1	5	4	12	1位				1位
20	3	6	6	2	1	18	?	2 ?	3 2位		2位
30	4	5	3	3	3	18	?	0 保留		3 3位	3位
40	5	2	5	4	2	18	?	2 ?	4 保留	2 4位	4位
50	2	3	2	6	6	19	5位				5位
60	6	4	4	1	5	20	6位				6位

適用規定 → 規定9 / 規定10a / 規定10b / 規定10a
 適用内容 → 合計点 / 多数決 / 上位加算 / 多数決
 決める順位 → 全て / 2位 / 3位

多数決で決まらない場合は、
 次の上位加算で検討します。

No.	Wz	Tg	Vw	Sf	Qs	合計	合計点	1位で 多数決	2位で 多数決	3位で 多数決	上位加算	4位で 多数決	最終順位
10	1	5	4	1	6	17	?	2 1位					1位
20	2	2	6	6	1	17	?	1 保留	3 2位				2位
30	5	1	5	3	3	17	?	1 保留	1 保留	3 ?	7 3位		3位
40	4	3	2	4	4	17	?	- 保留	1 保留	2 保留		5 4位	4位
50	3	4	3	5	2	17	?	- 保留	1 保留	3 ?	8 保留	4 5位	5位
60	6	6	1	2	5	20	6位						6位

適用規定 → 規定9 / 規定10a / 規定10a / 規定10a / 規定10b / 規定10a
 適用内容 → 合計点 / 多数決 / 多数決 / 多数決 / 上位加算 / 多数決
 決める順位 → 全て / 1位 / 2位 / 3位 / 4位

変遷例3) ※3組同点 → 多数決・上位加算後、再度多数決・上位加算

No.	Wz	Tg	Vw	Sf	Qs	合計	合計点	3位で 多数決	上位加算	4位で 多数決	上位加算	最終順位
10	1	1	2	5	2	11	1位					1位
20	4	3	1	1	6	15	2位					2位
30	3	2	6	6	1	18	?	3 ?	6 3位			3位
40	2	6	4	3	3	18	?	3 ?	8 保留	4 ?	12 4位	4位
50	5	4	3	2	4	18	?	2 保留		4 ?	13 5位	5位
60	6	5	5	4	5	25	6位					6位

適用規定 → 規定9 / 規定10a / 規定10b / 規定10a / 規定10b
 適用内容 → 合計点 / 多数決 / 上位加算 / 多数決 / 上位加算
 決める順位 → 全て / 3位 / 4位

規定 10a, 10b の繰り返しは、
 有る意味、規定 10 の再帰です。

変遷例4) ※5組同点 → 多数決後、規定10の再帰

No.	Wz	Tg	Vw	Sf	Qs	合計	合計点	1位で			2位で		3位で		4位で		最終順位			
							?	多数決	上位加算	再スケート	多数決	上位加算	多数決	上位加算	多数決	上位加算				
10	1	4	5	1	6	17	?	2	1位									1位		
20	6	6	2	2	1	17	?	1	保留	3	?	5	2位					2位		
30	2	2	6	5	2	17	?	-	保留	3	?	6	保留	3	?	6		3位		
40	3	1	3	6	4	17	?	1	保留	1	保留	3	?	7	保留	4		?	11	4位
50	4	5	1	4	3	17	?	1	保留	1	保留	2	保留	4	?	4		?	12	5位
60	5	3	4	3	5	20	6位											6位		

適用規定 →	規定9	規定10a	規定10a	規定10b	規定10a	規定10b	規定10a	規定10b
適用内容 →	合計点	多数決	多数決	上位加算	多数決	上位加算	多数決	上位加算
決める順位 →	全て	1位	2位		3位		4位	

規定10の再帰

変遷例5) ※3組同点 → 多数決・上位加算で未決定、再スケート。その後、規定10。

No.	Wz	Tg	Vw	Sf	Qs	合計	合計点	1位で			2位で		最終順位	
							?	多数決	上位加算	再スケート	多数決	再スケート		
10	6	4	2	2	1	15	?	1	?	上	1位			1位
20	2	6	4	1	2	15	?	1	?	-	?	3		2位
30	5	1	3	3	3	15	?	1	?	-	?	2		3位
40	4	3	1	6	4	18	4位							
50	3	2	5	4	5	19	5位							
60	1	5	6	5	6	23	6位							

適用規定 →	規定9	規定10a	規定10b	規定11	規定10a
適用内容 →	合計点	多数決	上位加算	再スケ	多数決
決める順位 →	全て	1位			2位

多数決→上位加算でも決まらない場合は、再スケートで検討します。

変遷例6) ※3組同点 → 再スケートの再帰。

No.	Wz	Tg	Vw	Sf	Qs	合計	合計点	1位で			2位で			最終順位				
							?	多数決	上位加算	再スケート	多数決	上位加算	再スケート					
10	6	4	2	2	1	15	?	1	?	上	1位				1位			
20	2	6	3	1	3	15	?	1	?	-	?	2	?		3	?	上	2位
30	5	1	4	3	2	15	?	1	?	-	?	2	?		3	?	-	3位
40	4	3	1	6	4	18	4位											
50	3	2	5	4	5	19	5位											
60	1	5	6	5	6	23	6位											

適用規定 →	規定9	規定10a	規定10b	規定11	規定10a	規定10b	規定11
適用内容 →	合計点	多数決	上位加算	再スケ	多数決	上位加算	再スケ
決める順位 →	全て	1位			2位		

再スケートの再帰も、規定10の再帰から。

2組に絞られたら、再スケートでの優劣で、最終順位が決定します。

変遷例7) ※6組同点 → 毎回、再スケートに到達する規定10の再帰。

No.	Wz	Tg	Vw	Sf	Qs	合計	合計点	2位で			4位で			6位で			最終順位						
							?	多数決	上位加算	再スケート	多数決	上位加算	再スケート	多数決	上位加算	再スケート							
10	1	1	-	-	-	2	1位												1位				
20	2	7	-	-	-	9	?	2	?	上	2位								2位				
30	7	2	-	-	-	9	?	2	?	-	3位								3位				
40	6	3	-	-	-	9	?	0	保留			1	?	3	?	上		4位					
50	3	6	-	-	-	9	?	0	保留			1	?	3	?	-		5位					
60	4	5	-	-	-	9	?	0	保留			0	保留					2	?	9	?	上	6位
70	5	4	-	-	-	9	?	0	保留			0	保留					2	?	9	?	-	7位

適用規定 →	規定9	規定10a	規定10b	規定11	規定10a	規定10b	規定11	規定10a	規定10b	規定11
適用内容 →	合計点	多数決	上位加算	再スケ	多数決	上位加算	再スケ	多数決	上位加算	再スケ
決める順位 →	全て	2位			4位			6位		

2組ずつに絞られた状況。但し、次のグループ分けの概念も忘れずに！

変遷例 8) ※ 3組同点 → 多数決・上位加算後・再スケート (グループ分けの適用)

No.	Wz	Tg	Vw	Sf	Qs	合計	合計点	1位で			最終順位			
								多数決	上位加算	再スケート	多数決	上位加算	再スケート	
10	3	1	5	3	2	14	1位							1位
20	5	6	4	1	1	17	?	2 ?	2 ?	上 2位				2位
30	1	4	1	6	5	17	?	2 ?	2 ?	- 3位				3位
40	4	3	2	2	6	17	?	0 保留					4位	4位
50	2	5	3	4	4	18	5位							5位
60	6	2	6	5	3	22	6位							6位

適用規定 →	規定9	規定10a	規定10b	規定11
適用内容 →	合計点	多数決	上位加算	再スケ
決める順位 →	全て	1位		

再スケートに到達してしまった場合は、その人達を分離して考えます。とにかく、その人達の順序を、先に付けてしまいます。

従って、分離して残った1組は、必然的に順位が決まります。

注) 以降 X位 は、再スケート突入により、検討グループより弾かれて順位が決定したことを表しています。

変遷例 9) ※ 6組同点 → 多数決で決定、最後に再スケのグループ分け

No.	Wz	Tg	Vw	Sf	Qs	合計	合計点	1位で	2位で	3位で	4位で			最終順位			
								多数決	多数決	多数決	多数決	上位加算	再スケート	多数決	上位加算	再スケート	
10	6	1	6	1	-	14	?	2 1位									1位
20	2	2	4	6	-	14	?	- 保留	2 2位								2位
30	3	6	3	2	-	14	?	- 保留	1 保留	3 3位							3位
40	4	5	2	3	-	14	?	- 保留	1 保留	2 保留	3 ?	9 ?	上 4位				4位
50	1	4	5	4	-	14	?	1 保留	1 保留	1 保留	3 ?	9 ?	- 5位				5位
60	5	3	1	5	-	14	?	1 保留	1 保留	2 保留	2 保留						6位

適用規定 →	規定9	規定10a	規定10a	規定10a	規定10a	規定10b	規定11
適用内容 →	合計点	多数決	多数決	多数決	多数決	上位加算	再スケ
決める順位 →	全て	1位	2位	3位	4位		

※ 最後に残った組の、再スケート検討テーブルです。60番の取扱いには注意が必要です。

↓

40	1	1	1	2	2	2	2	2	3	3	3	3	4	4	4	5	5	5	6	6
50	1	1	1	1	1	3	3	3	3	4	4	4	5	5	5	5	5	6	6	6
60	1	1	1	1	2	2	2	3	3	3	4	4	5	5	5	5	5	5	6	6

変遷例 10) ※ 5組同点 → 最初の段階でグループ分けが発生。1組残りは、順位確定と成ります。

No.	Wz	Tg	Vw	Sf	Qs	合計	合計点	1位で			2位で			3位で			最終順位			
								多数決	上位加算	再スケート	多数決	上位加算	再スケート	多数決	上位加算	再スケート	多数決	上位加算	再スケート	
10	6	1	3	5	2	17	?	1 ?	1 ?	上 1位										1位
20	5	4	1	2	5	17	?	1 ?	1 ?	- ?	2 ?	3 ?	上 2位							2位
30	4	2	4	6	1	17	?	1 ?	1 ?	- ?	2 ?	3 ?	- ?	2 ?	3 ?	- ?				3位
40	2	5	5	1	4	17	?	1 ?	1 ?	- ?	2 ?	3 ?	- ?	2 ?	3 ?	- ?	2 ?	3 ?	上 3位	4位
50	3	6	2	3	3	17	?	- 保留												5位
60	1	3	6	4	6	20	6位													6位

適用規定 →	規定9	規定10a	規定10b	規定11	規定10a	規定10b	規定11	規定10a	規定10b	規定11
適用内容 →	合計点	多数決	上位加算	再スケ	多数決	上位加算	再スケ	多数決	上位加算	再スケ
決める順位 →	全て	1位			2位			3位		

変遷例 11) ※ 5組同点 → 2段階で、グループ分けが発生。

No.	Wz	Tg	Vw	Sf	Qs	合計	合計点	1位で			2位で			最終順位			
								多数決	上位加算	再スケート	多数決	上位加算	再スケート	多数決	上位加算	再スケート	
10	6	1	3	2	5	17	?	1 ?	1 ?	上 1位							1位
20	2	3	1	5	6	17	?	1 ?	1 ?	- ?	2 ?	3 ?	上 2位				2位
30	4	4	6	1	2	17	?	1 ?	1 ?	- ?	2 ?	3 ?	- 3位				3位
40	1	5	5	3	3	17	?	1 ?	1 ?	- ?	1 保留						4位
50	3	2	2	6	4	17	?	- 保留									5位
60	5	6	4	4	1	20	6位										6位

適用規定 →	規定9	規定10a	規定10b	規定11	規定10a	規定10b	規定11
適用内容 →	合計点	多数決	上位加算	再スケ	多数決	上位加算	再スケ
決める順位 →	全て	1位			2位		

変遷例 1 2) 再スケートによるグループ分けで、2組が残った場合

No.	Wz	Tg	Vw	Sf	Qs	合計	合計点	1位で			2位で		4位で	最終順位
								多数決	上位加算	再スケート	多数決	上位加算	多数決	
10	2	4	3	5	3	17	?	-	保留					4位
20	3	6	1.5	2	4.5	17	?	-	保留					5位
30	4	1	4	6	2	17	?	1	?	上 1位				1位
40	5	5	1.5	1	4.5	17	?	1	?	-	?			2位
50	6	2	5	3	1	17	?	1	?	-	?			3位
60	1	3	6	4	6	20	6位							6位

適用規定 → 規定9 規定10a 規定10b 規定11 規定10a 規定10b 規定10a
 適用内容 → 合計点 多数決 上位加算 再スケート 多数決 上位加算 多数決
 決める順位 → 全て 1位 2位 4位

再スケートに進んだ組の順位を優先的に決定します。残りの決定は、随分後に成ります

No.	Wz	Tg	Vw	Sf	Qs	合計	合計点	1位で			2位で		5位で	最終順位
								多数決	上位加算	再スケート	多数決	上位加算	再スケート	
10	6	2	1	5	-	14	?	1	?	上 1位				1位
20	5	1	2	6	-	14	?	1	?	-	保留			2位
30	2	6	5	1	-	14	?	1	?	-	保留			3位
40	1	5	4	4	-	14	?	1	?	-	保留			4位
50	4	4	3	3	-	14	?	-	保留					5位
60	3	3	6	2	-	14	?	-	保留					6位

適用規定 → 規定9 規定10a 規定10b 規定11 規定10a 規定10b 規定11 規定10a
 適用内容 → 合計点 多数決 上位加算 再スケート 多数決 上位加算 再スケート 多数決
 決める順位 → 全て 1位 2位 5位

変遷例 1 3) 再スケの検討でも、同点になるケースです。

No.	Wz	Tg	Vw	Sf	Qs	合計	合計点	1位で			2位で		4位で			最終順位	
								多数決	上位加算	再スケート	多数決	上位加算	再スケート	多数決	上位加算		再スケート
10	2	4	1	5	5	17	?	1	?	上 1位							1位
20	1	2	6	4	4	17	?	1	?	-	?						2位
30	3	1	5	6	2	17	?	1	?	-	?						3位
40	4	6	3	1	3	17	?	1	?	-	?						4位
50	6	3	4	3	1	17	?	1	?	-	?						4位
60	5	5	2	2	6	20	6位										6位

適用規定 → 規定9 規定10a 規定10b 規定11 規定10a 規定10b 規定11 規定10a 規定10b 規定11
 適用内容 → 合計点 多数決 上位加算 再スケート 多数決 上位加算 再スケート 多数決 上位加算 再スケート
 決める順位 → 全て 1位 2位 4位

※ 過半数…多数決…上位加算…下位比較… で差が付きません！

40	1	1	1	2	2	2	2	2	2	3	3	4	4	4	4	5	5	5	5	5	6	6	6	6
50	1	1	1	1	2	2	2	3	3	3	3	3	4	4	4	4	5	5	5	5	5	6	6	6

◆ Break Time) 理解した内容を元に、下記問題を解いてみてください。

No.	Wz	Tg	Vw	Sf	Qs	合計	順位	適用規定
10	6	3	5	2	1	17		
20	3	6	3	3	2	17		
30	2	2	4	6	3	17		
40	1	1	6	4	5	17		
50	5	5	2	1	4	17		
60	4	4	1	5	6	20		

1	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6
1	1	1	1	1	1	2	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	5	5	5	5	6	6	6	6
1	1	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	4	4	4	5	5	5	5	6	6	6	6	
1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	3	3	4	4	4	4	4	5	5	6	6	6	6	6	
1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	3	4	4	4	4	5	5	5	5	6	6	6	6	
1	1	1	1	2	2	2	2	3	3	4	4	4	4	4	5	5	5	5	6	6	6	6	6	

変遷例 14) Break Time の解答です。合っていましたか???

No.	Wz	Tg	Vw	Sf	Qs	合計	合計点	1位で			2位で			4位で			最終順位				
								多数決	上位加算	再スケート	多数決	上位加算	再スケート	多数決	上位加算	再スケート					
10	1	1	6	4	5	17	?	2	1位								1位				
20	5	5	2	1	4	17	?	1	保留	2	?	3	?	上	2位		2位				
30	6	3	5	2	1	17	?	1	保留	2	?	3	?	-	3位		3位				
40	3	6	3	3	2	17	?	-	保留	1	保留					4	?	11	?	上	4位
50	2	2	4	6	3	17	?	-	保留	2	?	4	保留			4	?	11	?	-	5位
60	4	4	1	5	6	20	6位														6位

適用規定 →	規定9	規定10a	規定10a	規定10b	規定11	規定10a	規定10b	規定11
適用内容 →	合計点	多数決	多数決	上位加算	再スケ	多数決	上位加算	再スケ
決める順位 →	全て	1位	2位			4位		

※ 2位決定の検討過程に於ける、グループ分けに注意して下さい。

変遷例 15) 再スケート4組例 (単科同点により、総合合計が多数有るケース)

15-1. 単科の計算

■ Waltz													
No.	A	B	C	D	E			↓		決定順位			
11	2	2	5	2	5			2	2	5	5	2	
22	3	3	1	4	6			1	3	3	4	6	4
33	4	5	3	1	1			1	1	3	4	5	3
44	1	1	2	5	3			1	1	2	3	5	1
55	6	6	4	3	4			3	4	4	6	6	5
66	5	4	6	6	2			2	4	5	6	6	6

検討処理	
1位決定	3位決定
上位加算	
	上位加算
	上位加算
上位加算	

■ Tango													
No.	A	B	C	D	E			↓		決定順位			
11	1	2	2	3	4			1	2	2	3	4	1
22	3	1	3	1	3			1	1	3	3	3	3
33	2	5	5	5	5			2	5	5	5	5	5
44	4	4	4	4	1			1	4	4	4	4	4
55	6	6	6	6	6			6	6	6	6	6	6
66	5	3	1	2	2			1	2	2	3	5	2

検討処理	
1位決定	
下位比較	
下位比較	

■ Viennese Waltz													
No.	A	B	C	D	E			↓		決定順位			
11	5	2	2	3	4			2	2	2	3	4	2
22	2	3	4	5	6			2	3	4	5	6	3 (4.0)
33	3	4	5	6	2			2	3	4	5	6	3 (4.0)
44	4	5	6	2	3			2	3	4	5	6	3 (4.0)
55	1	1	1	1	1			1	1	1	1	1	1
66	6	6	3	4	5			3	4	5	6	6	6

検討処理	
3位決定	
同点	
同点	
同点	

同点があります

■ Slow Foxtrot													
No.	A	B	C	D	E			↓		決定順位			
11	2	2	5	1	5			1	2	2	5	5	2
22	1	1	2	5	2			1	1	2	2	5	1
33	4	5	4	4	1			1	4	4	4	5	5
44	5	6	3	2	3			2	3	3	5	6	4
55	3	3	1	3	6			1	3	3	3	6	3
66	6	4	6	6	4			4	4	6	6	6	6

検討処理	
1位決定	3位決定
多数決	
多数決	
	多数決
	多数決

■ Quick Step													
No.	A	B	C	D	E			↓		決定順位			
11	2	6	2	6	1			1	2	2	6	6	2
22	4	4	6	3	6			3	4	4	6	6	6
33	1	5	1	5	2			1	1	2	5	5	1
44	6	3	3	4	5			3	3	4	5	6	5
55	3	2	4	2	3			2	2	3	3	4	3
66	5	1	5	1	4			1	1	4	5	5	4

検討処理		
1位決定	4位決定	5位決定
上位加算		
	上位加算	上位加算
上位加算		
	上位加算	上位加算
	上位加算	

15-2. 総合の計算

■ 総合											
No.	Wz	Tg	WV	SF	Qs	並び替え					合計
11	2	1	2	2	2	1	2	2	2	2	9
22	4	3	3*	1	6	1	3	4	4	6	18
33	3	5	3*	5	1	1	3	4	5	5	18
44	1	4	3*	4	5	1	4	4	4	5	18
55	5	6	1	3	3	1	3	3	5	6	18
66	6	2	6	6	4	2	4	6	6	6	24

↑ 注) 3* は、同点3位 (4.0)

規定9 先決定	検討順位	規定10a 多数決	規定10b 上位加算
1			
→ ?	2	1	1 → 再
→ ?	2	1	1 → 再
→ ?	2	1	1 → 再
→ ?	2	1	1 → 再
6			

決定順位
1
?
?
?
?
6

■ 再スケート (2位を決定)																								
No.																								
22	1	1	1	1	1	2	2	2	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	5	5	6	6	6	6
33	1	1	1	1	1	2	2	2	3	3	3	3	3	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	6
44	1	1	1	1	2	2	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	5	5	5	5	5	6	6
55	1	1	1	1	1	1	2	2	3	3	3	3	3	3	4	4	4	6	6	6	6	6	6	6

決定順位
2
?
?
?

3位の検討

並び替え											合計
1	2	2	2	2	2	9					
1	3	4	4	4	6	18					
1	3	4	5	5	5	18					
1	4	4	4	5	5	18					
1	3	3	5	6	6	18					
2	4	6	6	6	6	24					

既決定	検討順位	規定10a 多数決	規定10b 上位加算
1			
2			
→ ?	3	2	
→ ?	3	1	
→ ?	3	3	
6			

決定順位
1
2
?
?
3
6

4位の検討

並び替え											合計
1	2	2	2	2	2	9					
1	3	4	4	4	6	18					
1	3	4	5	5	5	18					
1	4	4	4	5	5	18					
1	3	3	5	6	6	18					
2	4	6	6	6	6	24					

既決定	検討順位	規定10a 多数決	規定10b 上位加算
1			
2			
→ ?	4	3	
→ ?	4	4	
3			
6			

決定順位
1
2
5
4
3
6

決定順位
1
2
5
4
3
6

15-3. 再スケート雑考 ※ この問題のデータの一部を、入力ミスしたとすると…???

↓ 下記の様に、Eジャッジの3位と6位を取り違えてみます!

■ Tango											
No.	A	B	C	D	E						決定順位
11	1	2	2	3	4	1	2	2	3	4	1
22	3	1	3	1	3	1	1	3	3	3	3
33	2	5	5	5	5	2	5	5	5	5	5
44	4	4	4	4	1	1	4	4	4	4	4
55	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
66	5	3	1	2	2	1	2	2	3	5	2

検討処理
1位決定
下位比較
下位比較

■ Tango											
No.	A	B	C	D	E						決定順位
11	1	2	2	3	4	1	2	2	3	4	1
22	3	1	3	1	6	1	1	3	3	6	3
33	2	5	5	5	5	2	5	5	5	5	5
44	4	4	4	4	1	1	4	4	4	4	4
55	6	6	6	6	3	3	6	6	6	6	6
66	5	3	1	2	2	1	2	2	3	5	2

検討処理
1位決定
下位比較
下位比較

→ 単科の結果は変わらないため、総合のテーブルに変化は有りません。

→ 単科の結果は同じ為、総合のテーブルに変化は有りませんが、再スケートの判定は覆ります。

さて、総合結果は???

■ 総合											規定9 先決定	検討順位	規定10a 多数決	規定10b 上位加算	決定順位	
No.	Wz	Tg	WV	SF	Qs	並び替え					合計					
11	2	1	2	2	2	1	2	2	2	2	9	1			1	
22	4	3	3*	1	6	1	3	4	4	6	18	→ ?	2	1	1 → 再	?
33	3	5	3*	5	1	1	3	4	5	5	18	→ ?	2	1	1 → 再	?
44	1	4	3*	4	5	1	4	4	4	5	18	→ ?	2	1	1 → 再	?
55	5	6	1	3	3	1	3	3	5	6	18	→ ?	2	1	1 → 再	?
66	6	2	6	6	4	2	4	6	6	6	24	6				6

↑ 注) 3* は、同点3位 (4.0)

■ 再スケート (2位を決定)																			決定順位																			
No.																			↓																			決定順位
22	1	1	1	1	1	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	?
33	1	1	1	1	1	2	2	2	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	?	
44	1	1	1	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	?		
55	1	1	1	1	1	1	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2		

前ページと、比べて下さい

並び替え											合計	既決定	検討順位	規定10a 多数決	規定10b 上位加算	決定順位
1	2	2	2	2							9	1				1
1	3	4	4	6							18	→ ?	3	2	4 → 再	?
1	3	4	5	5							18	→ ?	3	2	4 → 再	?
1	4	4	4	5							18	→ ?	3	1		5
1	3	3	5	6							18	2				2
2	4	6	6	6							24	6				6

■ 再スケート (3位を決定)																			決定順位																			
No.																			↓																			決定順位
33	1	1	1	1	1	2	2	2	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	4		
44	1	1	1	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3		

結果は、大幅に変わります

正しい計算

決定順位
1
2
5
4
3
6

決定順位
1
4
3
5
2
6

間違って入力した結果

※ 正解と間違い入力の検討過程の比較 【比べてみよう♪】

<< 正解 >>

- 2位を再スケートで決定
- 3位を規程10aで決定
- 4位を規程10aで決定

<< 間違い例 >>

- 2位を再スケートで決定
- 3位を規程10bで決定
- 4位を再スケートで決定

※ 単科の打込みを一カ所間違っただけですが、内容が異なるため、再スケートの結果が当然違っており、前述の結果とは全く違った最終順位が算出されてしまっています。

僅かなミスも許されない、顕著な例です。

■ 総合の復習

◆ 総合の順位決定方法

総合順位の決定に於いても単科同様に、判定する内容に差がない場合、順次3つの規定（規定9～規定11）を使って最終的な順位を決定します。この手順に関して以下の表を参照し、もう一度確認してください。

3. 総合の順位決定	規定9	合計点
	規定10(a)	多数決
	規定10(b)	上位加算
	規定11	再スケータリング

① 合計点 単科順位を全て合計し、少ない順に順位が決定

↓
合計点と同じ場合、決定しようとする順位（該当順位）について、以下の条件を順に当てはめ、順位を決定する。

② 多数決 該当順位以上の数を数える

※ 多く数を取った方が上位。条件が同じなら、次の上位加算へ進む。

③ 上位加算 該当順位以上の単科順位を合計する

※ 合計数が少ない方が上位。条件が同じなら、次の再スケートへ進む。

>>> 再スケート判定に進んだ組は、分離して考える！ <<<

④ 再スケート 『全種目』を1つの種目と見なし、単科の判定を適用

※ 過半数・多数決・上位加算・下位比較を駆使して順位を決定する

⑤ 同点 全ての規則を当てはめても差がない場合は、同点！

注意！！ 基本は決めたい順位（該当順位）

■ サンプル事例 (総合の実例)

1. 合計 : 単科結果の合計点で同点無し

■ その1 (合計)							並び替え				合計	
No.	Sa	CC	Ru	PD	Jv		1	1	1	1		
11	1	1	1	1	1		1	1	1	1		4.0
12	3	3	3	2			2	3	3	3		11.0
13	4	2	2	4			2	2	4	4		12.0
14	2	4	4	3			2	3	4	4		13.0
15	5	5	5	5			5	5	5	5		20.0
16	6	6	6	6			6	6	6	6		24.0

規定9 先決定	検討順位	規定10a 多数決	規定10b 上位加算
1			
2			
3			
4			
5			
6			

決定順位
1
2
3
4
5
6

2. 合計 : 単科での結果で、同点有り

■ その2 (合計)							並び替え				合計	
No.	Sa	CC	Ru	PD	Jv		1	1	1	1		
21	1	1	1	1	1		1	1	1	1		4.0
22	2	2	2	2*			2	2	2	2.5		8.5
23	3	3	3	2*			2.5	3	3	3		11.5
24	4	4	4	4			4	4	4	4		16.0
25	5	5	5	5			5	5	5	5		20.0
26	6	6	6	6			6	6	6	6		24.0

↑ 2* は、同点2位 (2.5)

規定9 先決定	検討順位	規定10a 多数決	規定10b 上位加算
1			
2			
3			
4			
5			
6			

決定順位
1
2
3
4
5
6

3. 多数決 : 検討順位以上の単科結果個数

■ その3 (多数決)							並び替え				合計	
No.	Wz	Tg	VW	SF	Qs		1	1	6			
31	6	1		1			1	1	6			8
32	2	3		3			2	3	3			8
33	4	4		2			2	4	4			10
34	1	6		4			1	4	6			11
35	3	5		5			3	5	5			13
36	5	2		6			2	5	6			13

規定9 先決定	検討順位	規定10a 多数決	規定10b 上位加算
→ ?	1	2	
→ ?	1	0	
3			
4			
→ ?	5	3	
→ ?	5	2	

決定順位
1
2
3
4
5
6

4. 多数決 : 単科での結果で、同点有り

■ その4 (多数決)							並び替え				合計	
No.	Sa	CC	Ru	PD	Jv		1	1	1			
41		1	1	1			1	1	1			3
42		6	2	2			2	2	6			10
43		3*	3	3			3	3	4.0			10
44		2	4	4			2	4	4			10
45		3*	5	5			4.0	5	5			14
46		3*	6	6			4.0	6	6			16

↑ 3* は、同点3位 (4.0)

規定9 先決定	検討順位	規定10a 多数決	規定10b 上位加算
1			
→ ?	2	2	
→ ?	2	3	0
→ ?	2	3	1
5			
6			

決定順位
1
2
3
4
5
6

5. 上位加算 : 検討順位以上の単科結果の合計値

■ その5 (上位加算)										
No.	Wz	Tg	VW	SF	Qs	並び替え				合計
52	1	1			1	1	1	1		3
53	3	2			3	2	3	3		8
54	6	4			2	2	4	6		12
55	5	3			4	3	4	5		12
56	2	6			5	2	5	6		13
57	4	5			6	4	5	6		15

規定9 先決定	検討順位	規定10a 多数決	規定10b 上位加算
1			
2			
→ ?	3	1	2
→ ?	3	1	3
5			
6			

決定順位
1
2
3
4
5
6

6. 上位加算 : 検討順位以上の単科結果の合計値

■ その6 (上位加算)										
No.	Sa	OC	Ru	PD	Jv	並び替え				合計
61	1	1		1		1	1	1		3
62	2	2		2		2	2	2		6
63	3	5		3		3	3	5		11
64	4	3		6		3	4	6		13
65	5	4		4		4	4	5		13
66	6	6		5		5	6	6		17

規定9 先決定	検討順位	規定10a 多数決	規定10b 上位加算
1			
2			
3			
→ ?	4	2	7
→ ?	4	2	8
6			

決定順位
1
2
3
4
5
6

7. 多数決 & 再スケート

■ その7 (多数決・再スケート)										
No.	Wz	Tg	VW	SF	Qs	並び替え				合計
71	3	3		1	1	1	1	3	3	8.0
72	2	1		2	3	1	2	2	3	8.0
73	1	2		3	2	1	2	2	3	8.0
74	4	4		4	4	4	4	4	4	16.0
75	5	5		5	5	5	5	5	5	20.0
76	6	6		6	6	6	6	6	6	24.0
77	7	7		7	7	7	7	7	7	28.0

規定9 先決定	検討順位	規定10a 多数決	規定10b 上位加算
→ ?	1	2	
→ ?	1	2	1 3 5 → 再
→ ?	1	2	1 3 5 → 再
4			
5			
6			
7			

決定順位
1
2
3
4
5
6
7

■ 再スケート (2位を決定)																					
No.	↓																				
72	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	3	3	3	3	3	4	4	5	5	6	6
73	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	3	3	3	3	4	4	5	6	6	7	7

8. 多数決 & 再スケート

■ その8 (多数決・再スケート)										
No.	Wz	Tg	VW	SF	Qs	並び替え				合計
81	1	1				1	1			2.0
82	4	2				2	4			6.0
83	2	4				2	4			6.0
84	3	3				3	3			6.0
85	6	5				5	6			11.0
86	5	6				5	6			11.0
87	7	7				7	7			14.0

規定9 先決定	検討順位	規定10a 多数決	規定10b 上位加算
1			
→ ?	2	1	2 → 再
→ ?	2	1	2 → 再
→ ?	2	0	
→ ?	5	1	5 → 再
→ ?	5	1	5 → 再
7			

決定順位
1
2
3
4
5
6
7

■ 再スケート (2位を決定)																					
No.	↓																				
82	1	2	2	2	3	3	4	5	5	6											
83	1	1	2	3	3	3	4	6	6	6											

■ 再スケート (5位を決定)																					
No.	↓																				
85	2	4	4	4	5	5	5	7	7	7											
86	2	3	4	4	5	5	6	6	6	7											

9. 多数決 & 再スケート

■ その9 (多数決・再スケート)										
No.	Sa	CC	Ru	PD	Jv	並び替え				合計
91	2	2	1	1		1	1	2	2	6.0
92	1	1	2	2		1	1	2	2	6.0
93	3	3	3	3		3	3	3	3	12.0
94	6	6	4	4		4	4	6	6	20.0
95	4	5	5	6		4	5	5	6	20.0
96	5	4	6	5		4	5	5	6	20.0

規定9 先決定	検討順位	規定10a 多数決	規定10b 上位加算
→ ?	1	2	2 → 再
→ ?	1	2	2 → 再
3			
→ ?	4	2	
→ ?	4	5	1 3 14 → 再
→ ?	4	5	1 3 14 → 再

決定順位
1
2
3
4
5
6

■ 再スケート (1位を決定)																				
No.	↓																			
91	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	4	5	
92	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	3	4	4	5	5	6	6	6	6

■ 再スケート (5位を決定)																				
No.	↓																			
95	2	2	3	3	3	4	4	4	4	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6
96	1	1	1	1	2	3	3	4	4	4	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6

10. 再スケート & 同点

■ その10 (再スケート → 同点)										
No.	Sa	CC	Ru	PD	Jv	並び替え				合計
101			1	1		1	1			2.0
102			2	2		2	2			4.0
103			3	4		3	4			7.0
104			4	3		3	4			7.0
105			5	5		5	5			10.0
106			5	6		5	6			11.0

規定9 先決定	検討順位	規定10a 多数決	規定10b 上位加算
1			
2			
→ ?	3	1	3 → 再
→ ?	3	1	3 → 再
5			
6			

決定順位
1
2
3
5
6

■ 再スケート (3位を決定)																				
No.	↓																			
103	2	3	3	3	3	4	4	4	5	6										
104	2	2	3	3	4	4	4	4	5	6										

11. 多数決 & 上位加算

■ その11											
No.	Sa	CC	Ru	PD	Jv	並び替え				合計	
101	2	1	5	3	2	1	2	2	3	5	13.0
102	1	2	2	6	6	1	2	2	6	6	17.0
103	6	6	1	1	3	1	1	3	6	6	17.0
104	4	4	4	4	1	1	4	4	4	4	17.0
105	5	3	3	2	4	2	3	3	4	5	17.0
106	3	5	6	5	5	3	5	5	5	6	24.0

規定9 先決定	検討順位	規定10a 多数決	規定10b 上位加算
1			
→ ?	2	3	
→ ?	2	3	2 3 5
→ ?	2	3	1 1
→ ?	2	3	1 3 8
6			

決定順位
1
2
3
?
?
6

規定9 先決定	検討順位	規定10a 多数決	規定10b 上位加算
1			
2			
3			
→ ?	4	5	
→ ?	4	4	
6			

決定順位
1
2
3
4
5
6

■ サンプル事例 (実務 [単科+総合] の実例)

■ 実例 その1 : 競技会で発生した事例 【 DSCJ B級戦 ラテン 】

■ Samba										
No.	A	B	C	D	E			↓		決定順位
18	4	4	1	3	3		1	3	3	2 (2.5)
47	3	5	6	6	1		1	3	5	5
65	1	1	2	1	6		1	1	1	1
89	2	3	4	4	2		2	2	3	2 (2.5)
92	5	2	5	2	4		2	2	4	4
161	6	6	3	5	5		3	5	5	6

検討処理	
2位決定	5位決定
同点	
	上位加算
同点	
	上位加算

■ Cha cha cha										
No.	A	B	C	D	E			↓		決定順位
18	5	3	2	5	2		2	2	3	4
47	3	6	5	6	6		3	5	6	6
65	1	1	3	2	4		1	1	2	2
89	2	2	4	4	3		2	2	3	3
92	4	4	6	3	5		3	4	4	5
161	6	5	1	1	1		1	1	1	1

検討処理	
3位決定	
下位比較	
下位比較	

■ Rumba										
No.	A	B	C	D	E			↓		決定順位
18	4	2	1	1	5		1	1	2	2
47	2	6	6	6	4		2	4	6	6
65	1	1	2	4	3		1	1	2	1
89	3	3	5	5	1		1	3	3	3
92	6	4	4	2	6		2	4	4	5
161	5	5	3	3	2		2	3	3	4

検討処理	
1位決定	3位決定
下位比較	
下位比較	
	上位加算
	上位加算

■ Paso Doble										
No.	A	B	C	D	E			↓		決定順位
18	4	2	1	2	5		1	2	2	2
47	2	5	5	1	3		1	2	3	3
65	1	1	2	4	1		1	1	1	1
89	3	4	4	6	2		2	3	4	4
92	6	3	6	3	6		3	3	6	6
161	5	6	2	5	4		2	4	5	5

規定9 先決定	検討順位	規定10a 多数決	規定10b 上位加算	決定順位
2				2
→ ?	5	2		6
1				1
3				3
→ ?	5	3		5
4				4

■ 総合										
No.	Sa	CC	Ru	PD	Jv	並び替え				合計
18	2.5	4	2	2		2	2	2.5	4	10.5
47	5	6	6	3		3	5	6	6	20
65	1	2	1	1		1	1	1	2	5
89	2.5	3	3	4		2.5	3	3	4	12.5
92	4	5	5	6		4	5	5	6	20
161	6	1	4	5		1	4	5	6	16

■ 実例 その2 : 競技会で発生した事例 【 DSCJ C級戦 ラテン 】

■ Samba													
No.	A	B	C	D	E			↓			決定順位		
102	3	7	6	5	7			3	5	6	7	7	7
103	4	2	7	6	1			1	2	4	6	7	4
104	5	5	3	7	2			2	3	5	5	7	5
105	2	4	4	2	4			2	2	4	4	4	3
106	1	3	5	1	5			1	1	3	5	5	2
107	6	1	1	3	3			1	1	3	3	6	1
108	7	6	2	4	6			2	4	6	6	7	6

検討処理		
1位決定	3位決定	6位決定
		多数決
	多数決	
	多数決	
多数決		
多数決		
		多数決

■ Cha cha cha													
No.	A	B	C	D	E			↓			決定順位		
102	6	7	6	6	7			6	6	6	7	7	7
103	5	4	7	5	1			1	4	5	5	7	6
104	4	6	3	7	2			2	3	4	6	7	5
105	2	3	5	1	5			1	2	3	5	5	3
106	1	1	4	3	6			1	1	3	4	6	2
107	3	2	1	2	4			1	2	2	3	4	1
108	7	5	2	4	3			2	3	4	5	7	4

検討処理	
2位決定	4位決定
	下位比較
上位加算	
上位加算	
	下位比較

■ Rumba													
No.	A	B	C	D	E			↓			決定順位		
102	4	7	7	5	7			4	5	7	7	7	7
103	3	4	6	6	1			1	3	4	6	6	4
104	5	6	3	7	2			2	3	5	6	7	6
105	1	3	5	1	4			1	1	3	4	5	2
106	2	1	2	2	6			1	2	2	2	6	1
107	7	2	4	3	3			2	3	3	4	7	3
108	6	5	1	4	5			1	4	5	5	6	5

検討処理	
2位決定	5位決定
	多数決
上位加算	
上位加算	
	多数決

■ 総合											
No.	Sa	OC	Ru	PD	Jv	並び替え					合計
102	7	7	7			7	7	7			21
103	4	6	4			4	4	6			14
104	5	5	6			5	5	6			16
105	3	3	2			2	3	3			8
106	2	2	1			1	2	2			5
107	1	1	3			1	1	3			5
108	6	4	5			4	5	6			15

規定9 先決定	検討順位	規定10a 多数決	規定10b 上位加算
7			
4			
6			
3			
→ ?	1	1	
→ ?	1	2	
5			

決定順位
7
4
6
3
2
1
5

■ 実例 その3 : 競技会で発生した事例 【 DSCJ C級戦 スタANDARD 】

■ Waltz													
No.	A	B	C	D	E			↓			決定順位		
16	3	1	2	5	4			1	2	3	4	5	3
32	4	5	3	6	6			3	4	5	6	6	6
42	2	2	6	1	3			1	2	2	3	6	1
54	5	4	1	2	2			1	2	2	4	5	2
98	1	3	4	3	5			1	3	3	4	5	4
104	6	6	5	4	1			1	4	5	6	6	5

検討処理		
1位決定	3位決定	5位決定
	上位加算	
		上位加算
下位比較		
下位比較		
	上位加算	
		上位加算

■ Tango													
No.	A	B	C	D	E			↓			決定順位		
16	2	1	1	3	4			1	1	2	3	4	1
32	4	6	3	6	5			3	4	5	6	6	6
42	1	2	5	2	3			1	2	2	3	5	2
54	6	4	6	5	2			2	4	5	6	6	5
98	3	3	4	1	6			1	3	3	4	6	3
104	5	5	2	4	1			1	2	4	5	5	4

検討処理	
1位決定	5位決定
上位加算	
	上位加算
上位加算	
	上位加算

■ Slow													
No.	A	B	C	D	E			↓			決定順位		
16	3	1	1	3	1			1	1	1	3	3	1
32	2	6	3	6	3			2	3	3	6	6	3
42	1	2	6	2	5			1	2	2	5	6	2
54	5	3	4	5	2			2	3	4	5	5	5
98	4	4	5	4	6			4	4	4	5	6	6
104	6	5	2	1	4			1	2	4	5	6	4

検討処理	
4位決定	5位決定
上位加算	上位加算
上位加算	上位加算
上位加算	

■ 総合											
No.	Wz	Tg	VW	Sf	Qs	並び替え					合計
16	3	1		1		1	1	3			5
32	6	6		3		3	6	6			15
42	1	2		2		1	2	2			5
54	2	5		5		2	5	5			12
98	4	3		6		3	4	6			13
104	5	4		4		4	4	5			13

規定9 先決定	検討順位	規定10a 多数決	規定10b 上位加算
→ ?	1	2	
6			
→ ?	1	1	
3			
→ ?	4	2	7
→ ?	4	2	8

決定順位
1
6
2
3
4
5

■ 実例 その4 : 総合判定に於いて、殆どの組の合計点が、一致している場合

■ Samba												
No.	A	B	C	D	E			↓			決定順位	
11	3	5	5	3	5		3	3	5	5	5	5
22	2	2	1	2	1		1	1	2	2	2	2
33	4	4	2	5	3		2	3	4	4	5	4
44	5	3	3	4	2		2	3	3	4	5	3
55	1	1	6	1	6		1	1	1	6	6	1
66	6	6	4	6	4		4	4	6	6	6	6

■ Cha cha cha												
No.	A	B	C	D	E			↓			決定順位	
11	2	5	2	2	2		2	2	2	2	5	2
22	6	6	6	5	6		5	6	6	6	6	6
33	5	1	3	1	1		1	1	1	3	5	1
44	4	4	4	6	5		4	4	4	5	6	5
55	1	2	1	3	3		1	1	2	3	3	3
66	3	3	5	4	4		3	3	4	4	5	4

検討処理	
2位決定	4位決定
多数決	
	多数決
多数決	
	多数決

■ Rumba												
No.	A	B	C	D	E			↓			決定順位	
11	2	1	2	5	6		1	2	2	5	6	2
22	6	2	3	2	2		2	2	2	3	6	3
33	1	6	1	6	1		1	1	1	6	6	1
44	3	3	5	4	5		3	3	4	5	5	5
55	5	5	4	3	4		3	4	4	5	5	6
66	4	4	6	1	3		1	3	4	4	6	4

検討処理		
2位決定	4位決定	5位決定
上位加算		
上位加算		
	多数決	上位加算
	多数決	上位加算
	多数決	

■ Paso Doble												
No.	A	B	C	D	E			↓			決定順位	
11	6	4	2	6	4		2	4	4	6	6	6
22	3	2	5	2	6		2	2	3	5	6	4
33	5	3	3	1	5		1	3	3	5	5	3
44	1	6	4	3	3		1	3	3	4	6	2
55	4	5	6	4	2		2	4	4	5	6	5
66	2	1	1	5	1		1	1	1	2	5	1

検討処理		
2位決定	3位決定	5位決定
		下位比較
下位比較	下位比較	
下位比較	下位比較	
下位比較		下位比較

■ 総合											
No.	Sa	CC	Ru	PD	Jv	並び替え					合計
11	5	2	2	6		2	2	5	6		15
22	2	6	3	4		2	3	4	6		15
33	4	1	1	3		1	1	3	4		9
44	3	5	5	2		2	3	5	5		15
55	1	3	6	5		1	3	5	6		15
66	6	4	4	1		1	4	4	6		15

規定9 先決定	検討順位	規定10a 多数決	規定10b 上位加算	決定順位
→ ?	2	2		2
→ ?	2	1		?
1				1
→ ?	2	1		?
→ ?	2	1		?
→ ?	2	1		?

決定順位
2
?
1
?
?
?

並び替え					合計
2	2	5	6		15
2	3	4	6		15
1	1	3	4		9
2	3	5	5		15
1	3	5	6		15
1	4	4	6		15

既決定	検討順位	規定10a 多数決	規定10b 上位加算	決定順位
2				2
→ ?	3	2	5	?
1				1
→ ?	3	2	5	?
→ ?	3	2	4	3
→ ?	3	1		?

決定順位
2
?
1
?
3
?

並び替え					合計
2	2	5	6		15
2	3	4	6		15
1	1	3	4		9
2	3	5	5		15
1	3	5	6		15
1	4	4	6		15

既決定	検討順位	規定10a 多数決	規定10b 上位加算	決定順位
2				2
→ ?	4	3	9 → 再	5
1				1
→ ?	4	2		6
3				3
→ ?	4	3	9 → 再	4

決定順位
2
5
1
6
3
4

■ 再スケート (4位を決定)																	
No.																	
22	1	1	2	2	2	2	2	2	2	3	3	5	5	6	6	6	6
66	1	1	1	1	2	3	3	3	4	4	4	4	4	5	5	6	6

■ 実例 その5 : 3組の再スケート処理が有る例

■ Waltz														
No.	A	B	C	D	E				↓		決定順位			
11	6	6	1	4	4				1	4	4	6	6	5
22	3	3	6	3	6				3	3	3	6	6	4
33	1	1	3	4	5				1	1	3	4	5	3
44	1	1	2	5	3				1	1	2	3	5	1
55	2	2	5	2	5				2	2	2	5	5	2
66	5	4	4	6	2				2	4	4	5	6	6

検討処理		
1位決定	3位決定	5位決定
		上位加算
	上位加算	
上位加算		
上位加算		
		上位加算

■ Tango														
No.	A	B	C	D	E				↓		決定順位			
11	1	2	2	3	4				1	2	2	3	4	1
22	3	1	3	1	3				1	1	3	3	3	3
33	2	5	5	5	5				2	5	5	5	5	5
44	4	4	4	4	1				1	4	4	4	4	4
55	6	6	6	6	6				6	6	6	6	6	6
66	5	3	1	2	2				1	2	2	3	5	2

検討処理
1位決定
下位比較
下位比較

■ Slow Foxtrot														
No.	A	B	C	D	E				↓		決定順位			
11	2	2	5	1	5				1	2	2	5	5	2
22	1	1	2	5	2				1	1	2	2	5	1
33	4	5	4	4	1				1	4	4	4	5	5
44	5	6	3	2	3				2	3	3	5	6	4
55	3	3	1	3	6				1	3	3	3	6	3
66	6	4	6	6	4				4	4	6	6	6	6

検討処理	
1位決定	3位決定
多数決	
多数決	
	多数決
	多数決

■ Quick Step														
No.	A	B	C	D	E				↓		決定順位			
11	2	6	2	6	1				1	2	2	6	6	2
22	4	4	6	3	6				3	4	4	6	6	6
33	1	5	1	5	2				1	1	2	5	5	1
44	6	3	3	4	5				3	3	4	5	6	5
55	5	1	5	1	3				1	1	3	5	5	3
66	3	2	4	2	4				2	2	3	4	4	4

検討処理		
1位決定	3位決定	5位決定
上位加算		
		上位加算
上位加算		
		上位加算
	上位加算	
	上位加算	

■ 総合												
No.	Wz	Tg	WV	SF	Qs	並び替え					合計	
11	5	1		2	2	1	2	2	5			10
22	4	3		1	6	1	3	4	6			14
33	3	5		5	1	1	3	5	5			14
44	1	4		4	5	1	4	4	5			14
55	2	6		3	3	2	3	3	6			14
66	6	2		6	4	2	4	6	6			18

規定9 先決定	検討順位	規定10a 多数決	規定10b 上位加算	決定順位
1				1
→ ?	2	1	1 → 再	?
→ ?	2	1	1 → 再	?
→ ?	2	1	1 → 再	?
→ ?	2	1	2	5
6				6

■ 再スケート(2位を決定)																					
No.																	決定順位				
22	1	1	1	1	2	2	3	3	3	3	3	3	3	4	4	5	6	6	6	6	2
33	1	1	1	1	1	2	2	3	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	?
44	1	1	1	2	2	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	5	5	5	6	6	?

並び替え					合計
1	2	2	5		10
1	3	4	6		14
1	3	5	5		14
1	4	4	5		14
2	3	3	6		14
2	4	6	6		18

既決定	検討順位	規定10a 多数決	規定10b 上位加算	決定順位
1				1
2				2
→ ?	3	2		3
→ ?	3	1		4
5				5
6				6

■ 実例 その6 : 単科での結果に、同点が含まれる例

1. 単科の計算

■ Waltz												
No.	A	B	C	D	E			↓			決定順位	
11	2	1	3	2	3		1	2	2	3	3	2
22	4	2	1	1	1		1	1	1	2	4	1
33	5	4	2	3	5		2	3	4	5	5	4
44	6	6	6	4	4		4	4	6	6	6	6
55	1	3	5	5	2		1	2	3	5	5	3
66	3	5	4	6	6		3	4	5	6	6	5

■ Tango												
No.	A	B	C	D	E			↓			決定順位	
11	1	4	5	3	4		1	3	4	4	5	3 (3.5)
22	5	2	4	4	2		2	2	4	4	5	3 (3.5)
33	6	5	3	2	5		2	3	5	5	6	5
44	4	3	1	5	1		1	1	3	4	5	2
55	2	6	2	6	6		2	2	6	6	6	6
66	3	1	6	1	3		1	1	3	3	6	1

検討処理	
1位決定	3位決定
	同点
	同点
多数決	
多数決	

■ Viennese Waltz												
No.	A	B	C	D	E			↓			決定順位	
11	3	5	1	5	3		1	3	3	5	5	3
22	6	4	5	2	2		2	2	4	5	6	6
33	2	6	2	3	4		2	2	3	4	6	2
44	1	1	6	1	5		1	1	1	5	6	1
55	4	3	3	4	6		3	3	4	4	6	4
66	5	2	4	6	1		1	2	4	5	6	5

検討処理		
2位決定	4位決定	5位決定
下位比較		
	多数決	上位加算
下位比較		
	多数決	
	多数決	上位加算

■ Slow Foxtrot												
No.	A	B	C	D	E			↓			決定順位	
11	4	6	2	6	4		2	4	4	6	6	5
22	5	4	5	2	6		2	4	5	5	6	6
33	6	1	6	1	1		1	1	1	6	6	1
44	3	2	4	5	2		2	2	3	4	5	4
55	1	5	3	3	3		1	3	3	3	5	2
66	2	3	1	4	5		1	2	3	4	5	3

検討処理	
2位決定	3位決定
多数決	上位加算
多数決	
多数決	上位加算

■ Quick Step												
No.	A	B	C	D	E			↓			決定順位	
11	1	6	5	2	1		1	1	2	5	6	1 (1.5)
22	5	1	6	1	2		1	1	2	5	6	1 (1.5)
33	2	4	3	6	5		2	3	4	5	6	6
44	6	3	4	4	4		3	4	4	4	6	5
55	4	2	2	3	6		2	2	3	4	6	3
66	3	5	1	5	3		1	3	3	5	5	4

検討処理		
1位決定	3位決定	5位決定
同点		
同点		
		多数決
		多数決
	下位比較	
	下位比較	

■ 総合											
No.	Wz	Tg	WV	SF	Qs	並び替え					合計
11	2	3*	3	5	1*	1.5	2	3	3.5	5	15
22	1	3*	6	6	1*	1	1.5	3.5	6	6	18
33	4	5	2	1	6	1	2	4	5	6	18
44	6	2	1	4	5	1	2	4	5	6	18
55	3	6	4	2	3	2	3	3	4	6	18
66	5	1	5	3	4	1	3	4	5	5	18

↑ 注) 3* は、同点3位 (3.5) / 1* は、同点1位 (1.5)

決定順位
1
2
5
4
3
6

2. 総合の計算

■ 総合											
No.	Wz	Tg	WV	SF	Qs	並び替え					合計
11	2	3*	3	5	1*	1.5	2	3	3.5	5	15
22	1	3*	6	6	1*	1	1.5	3.5	6	6	18
33	4	5	2	1	6	1	2	4	5	6	18
44	6	2	1	4	5	1	2	4	5	6	18
55	3	6	4	2	3	2	3	3	4	6	18
66	5	1	5	3	4	1	3	4	5	5	18

↑ 注) 3* は、同点3位 (3.5) / 1* は、同点1位 (1.5)

規定9 先決定	検討順位	規定10a 多数決	規定10b 上位加算
1			
→ ?	2	2	2.5
→ ?	2	2	3
→ ?	2	2	3
→ ?	2	1	
→ ?	2	1	

決定順位
1
2
?
?
?
?

並び替え					合計
1.5	2	3	3.5	5	15
1	1.5	3.5	6	6	18
1	2	4	5	6	18
1	2	4	5	6	18
2	3	3	4	6	18
1	3	4	5	5	18

既決定	検討順位	規定10a 多数決	規定10b 上位加算
1			
2			
→ ?	3	2	
→ ?	3	2	
→ ?	3	3	
→ ?	3	2	

決定順位
1
2
?
?
3
?

並び替え					合計
1.5	2	3	3.5	5	15
1	1.5	3.5	6	6	18
1	2	4	5	6	18
1	2	4	5	6	18
2	3	3	4	6	18
1	3	4	5	5	18

既決定	検討順位	規定10a 多数決	規定10b 上位加算
1			
2			
→ ?	4	3	7 → 再
→ ?	4	3	7 → 再
3			
→ ?	4	3	8

決定順位
1
2
?
?
3
6

■ 再スケート (4位を決定)																								
No.																								
33	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	3	3	4	4	4	5	5	5	5	6	6	6	6	6
44	1	1	1	1	1	1	2	2	3	3	3	4	4	4	4	4	4	5	5	5	6	6	6	6

決定順位
5
4

決定順位
1
2
5
4
3
6



以上